

# 景気動向調査結果

(平成29年7月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、平成 29 年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 29 年 8 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、448 社（製造業 242 社（うち面接 64 社）、非製造業 206 社）で、回答率は 64.0 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2918）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

# 平成29年7月の景気動向

## 1 総論

長野県経済は、緩やかに回復しています。

製造業では、前回調査と比較して、回復傾向にある設備投資や堅調な海外需要にけん引され、一般機械、電機・電子、自動車部品を中心に受注、生産が回復したことにより、全体として16.7ポイント改善し、2期連続のプラス水準となりました。

非製造業では、前回調査と比較して、小売業、卸売業の業況は改善したものの、建設業、情報サービス業、飲食業、宿泊業の業況が悪化したため、全体の業況はやや悪化しました。

## 2 製造業

### (1) 業界の業況

前年同期（28年7月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は25.1となり、前回調査時（29年4月）の8.4より16.7ポイント改善しました。

3か月前（29年4月）と比較したD Iは16.3となり、前回調査時の15.9より0.4ポイント改善し、2期連続のプラス水準となりました。

また、3か月後（29年10月）の予想では、設備投資の増加への期待感などを背景に、D Iは6.3となり、3期連続のプラス水準となりました。

### 〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連が低調に推移しているものの、スマートフォン向けの需要が持ち直しています。プリンターは、新興国での需要の増加などにより、受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、自動車関連向けを中心に受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は、自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産が持ち直しています。建設機械は、国内向けは受注、生産の一部で持ち直しがみられるほか、海外向けは北米向けなどで受注、生産が回復しています。

ウ 精密では、時計はインバウンド需要の減少に伴い、受注、生産に一服感がみられます。レンズは、自動車関連向けで受注、生産に持ち直しがみられるほか、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部が持ち直しています。計器は、圧力計は自動車向けや産業機械向けの受注、生産が持ち直しているほか、LPガスメーターは、取替需要等により受注、生産が増加しています。

エ 自動車部品では、国内向けは受注、生産の一部で持ち直しがみられるほか、海外向けは北米などで受注、生産が堅調に推移しています。

オ 食料品では、味そは季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、清酒は消費の低迷により低調に推移しているものの、ワインでは受注、生産に持ち直しがみられます。飲料は季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しています。

## (2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が51.5%と前回(41.9%)より増加し、「減少」とする企業が19.4%と前回(24.6%)より減少した結果、D Iは前回(17.3)から改善し、32.1となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が34.0%と前回(36.4%)より減少し、「減少」とする企業が13.9%と前回(10.6%)より増加した結果、D Iは前回(25.8)から悪化し、20.1となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が18.6%、「減少」とする企業が12.2%となった結果、D Iは前回予想(1.2)より改善し、6.4となりました。

## (3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が54.2%と前回(43.2%)より増加し、「減少」とする企業が17.5%と前回(24.2%)より減少した結果、D Iは前回(19.0)より改善し、36.7となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が38.8%と前回(36.9%)より増加し、「減少」とする企業が14.6%と前回(13.1%)より増加した結果、D Iは前回(23.8)とほぼ同じ24.2となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が24.3%、「減少」とする企業が10.9%となった結果、D Iは前回予想(4.7)より改善し、13.4となりました。

## (4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が5.0%と前回(5.5%)よりやや減少し、「安い」とする企業が19.6%と前回(18.6%)よりやや増加した結果、D Iは前回( $\Delta$ 13.1)より悪化し、 $\Delta$ 14.6となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が3.8%と前回(4.6%)よりやや減少し、「安い」とする企業が7.5%と前回(10.1%)より減少した結果、D Iは前回( $\Delta$ 5.5)より改善し、 $\Delta$ 3.7となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が5.0%、「安い」とする企業が7.9%となった結果、D Iは前回予想( $\Delta$ 8.9)より改善し、 $\Delta$ 2.9となりました。

## (5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が15.3%と前回(11.7%)より増加し、「苦しい」とする企業が10.6%と前回(11.3%)よりやや減少した結果、D Iは前回(0.4)より改善し、4.7となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が12.4%と前回(9.5%)より増加し、「苦しい」とする企業が8.1%と前回(8.7%)よりやや減少した結果、D Iは前回(0.8)より改善し、4.3となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が7.3%、「苦しい」とする企業が12.8%となった結果、D Iは前回予想( $\Delta$ 3.4)より悪化し、 $\Delta$ 5.5となりました。

## (6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が31.3%と前回(24.5%)より増加し、「低下」とする企業が22.9%と前回(24.9%)より減少した結果、D Iは前回( $\Delta$ 0.4)より改善し、8.4となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が17.1%と前回(13.5%)より増加し、「低下」とする企業が13.8%と前回(15.6%)より減少した結果、D Iは前回( $\Delta$ 2.1)より改善し、3.3となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が6.7%、「低下」とする企業が13.0%となった結果、D Iは前回予想( $\Delta$ 11.8)より改善し、 $\Delta$ 6.3となりました。

## (7) 製造業の業種別動向

### 電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) パソコン関連は低調に推移しています。  
プリンターは、新興国での需要の増加などにより、受注、生産が堅調に推移しています。
- (半導体関連) デジタル家電向けで、受注、生産が弱含んでいるものの、自動車関連向けで、海外需要にけん引され堅調に推移しているほか、産業用途で受注、生産が持ち直しています。
- (プリント基板) 情報機器では、スマートフォン向けが持ち直しています。
- (抵抗器・コンデンサ等) 自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産が回復しているほか、家電向けで、需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。また、エネルギー関連向けでは受注、生産が低調に推移しています。
- (モーター等) 家電向けは、受注、生産が低調に推移しているものの、産業用途や自動車関連向けは、海外を中心とした需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。
- (その他) カーナビゲーションは、北米で続く好調な需要により、受注、生産が堅調に推移しています。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

### 一般機械

- (工作機械) 自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産が持ち直しています。
- (金 型) 自動車関連向けでは、国内需要の減少により、受注、生産に弱さがみられます。
- (建設機械) 国内向けは受注、生産の一部で持ち直しがみられるほか、海外向けは北米向けなどで受注、生産が回復しています。
- (農業用機械等) 国内向けで季節的要因により、受注、生産が減少したものの、北米や欧州の海外向けで、受注、生産に持ち直しがみられます。

精 密	
(時 計)	腕時計は、インバウンド需要の減少に伴い、受注、生産に 一服感がみられます。
(レ ン ズ)	自動車関連向けで受注、生産に持ち直しがみられるほか、 プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部が持ち直 しています。
(計 器)	圧力計は、自動車向けや産業機械向けの受注、生産が持ち 直しているほか、LPガスメーターは、取替需要等により受 注、生産が増加しています。
自 動 車 部 品	国内向けは、受注、生産の一部で持ち直しがみられるほか、海 外向けは、北米などで受注、生産が堅調に推移しています。
食 料 品	
(味 そ)	季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少して います。
(酒 類)	清酒は、消費の低迷により低調に推移しているものの、ワ インでは受注、生産に持ち直しがみられます。
(飲 料)	季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産 が増加しています。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因により受注、生産が減少しています。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生 産が増加しています。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移して いるほか、季節的要因により受注、生産が減少しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで、受注、生 産に持ち直しがみられます。

## 3 非製造業

### 業界の業況

前年同期（28年7月）と比較したD Iは $\Delta 23.2$ となり、前回調査時（29年4月）の $\Delta 20.3$ から2.9ポイント悪化しました。

3か月前（29年4月）と比較したD Iは $\Delta 14.6$ となり、前回調査時の2.5と比較すると17.1ポイント悪化しました。

なお、3か月後（29年10月）の予想は、D Iが $\Delta 13.1$ と前回調査時の予想の $\Delta 11.5$ と比較すると1.6ポイント低下する見通しです。

### 〔各業種の動き〕

#### ア 建設業

建設業では、技術者不足による受注機会の喪失などにより、売上高D I、販売価格D I等が悪化したことから、業況D Iは $\Delta 44.8$ と前回（ $\Delta 13.8$ ）より大幅に悪化しました。

3か月後は、資金繰りD Iの低下などにより、業況D Iは低下が予想されます。

#### イ 情報サービス業

情報サービス業では、人手不足による受注機会の喪失などにより、売上高D I、収益率D I等が悪化したことから、業況D Iは16.7と前回（37.5）より大幅に悪化しました。

3か月後は、売上高D I、客数（受注件数）D Iの低下により、業況D Iは低下が予想されます。

#### ウ 小売業

小売業では、個人消費が堅調に推移したことなどにより、販売価格D I、資金繰りD I等が改善したことから、業況D Iは $\Delta 17.1$ と前回（ $\Delta 27.3$ ）より改善しました。

3か月後は、売上高D I、客数D Iの低下により、業況D Iは低下が予想されます。

#### エ 卸売業

卸売業では、法人需要の増加などにより、売上高D I、収益率D I等が改善したことから、業況D Iは $\Delta 9.1$ と前回（ $\Delta 27.3$ ）より改善しました。

3か月後は、売上高D I、客数（取引先数）D Iの低下により、業況D Iは低下が予想されます。

#### オ 飲食業

飲食業では、仕入価格の上昇や客単価の下落などにより、売上高D I、資金繰りD I等が悪化したことから、業況D Iは $\Delta 38.1$ と前回（ $\Delta 15.8$ ）より大幅に悪化しました。

3か月後は、資金繰りD I、収益率D I等の低下により、業況D Iは低下が予想されます。

#### カ 宿泊業

宿泊業では、同業者間の競争などにより、売上高D I、客数D I等が悪化したことから、業況D Iは $\Delta 42.8$ と前回（ $\Delta 7.2$ ）より大幅に悪化しました。

3か月後は、売上高D I、客数D I等の上昇により、業況D Iは上昇が予想されます。

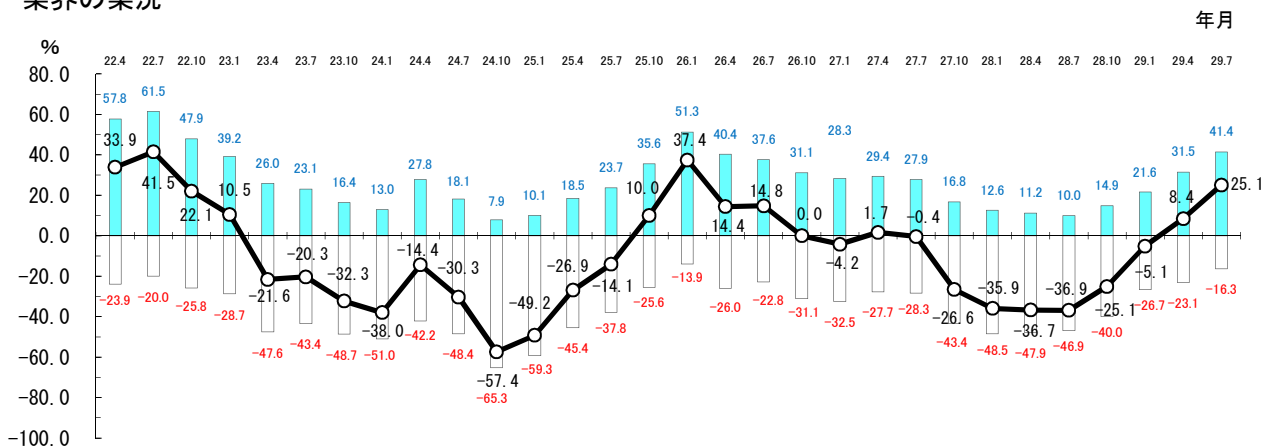
# 景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。  
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

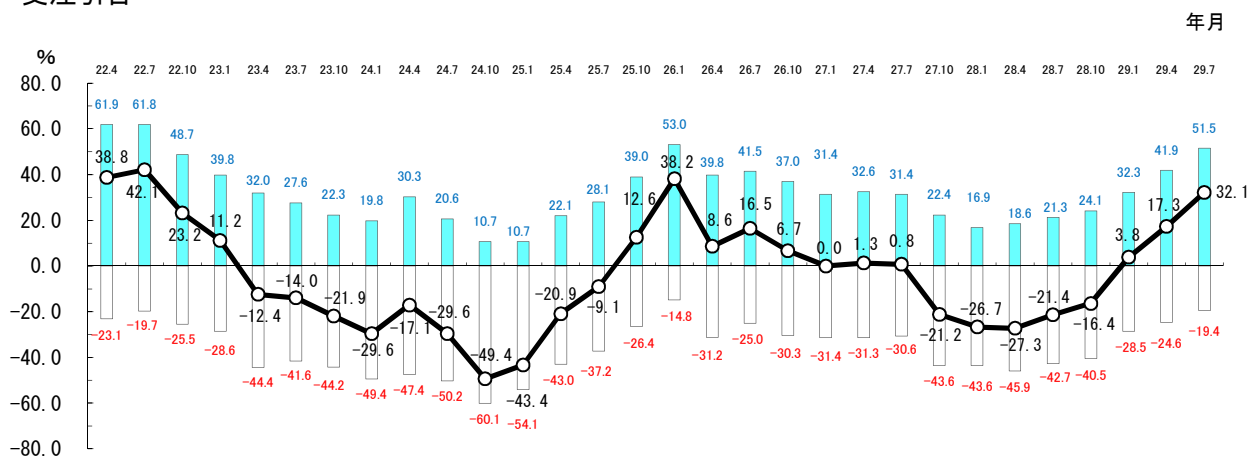
## 1 製造業

### (1) 前年同期に比べて

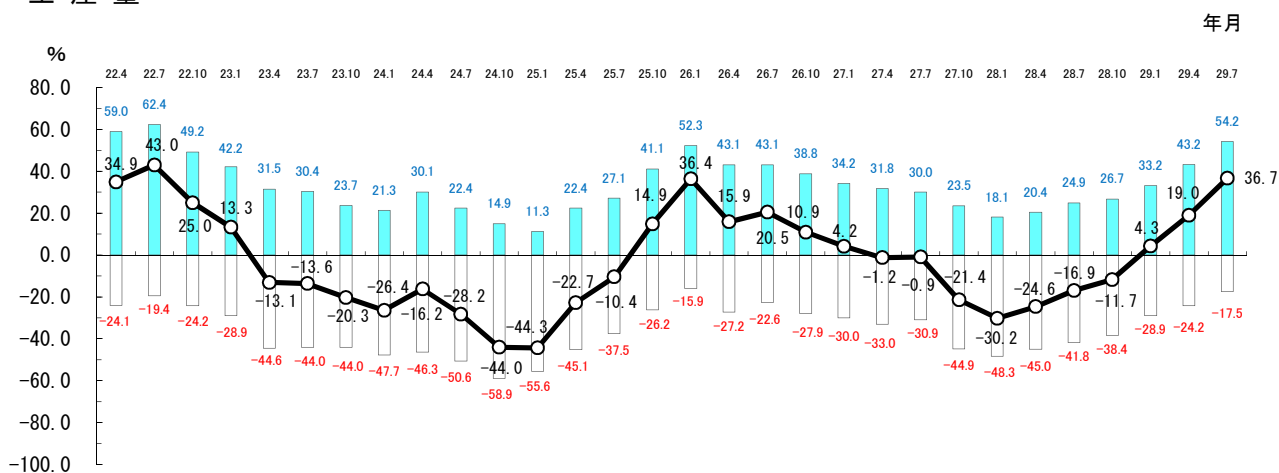
#### 業界の業況



#### 受注引合



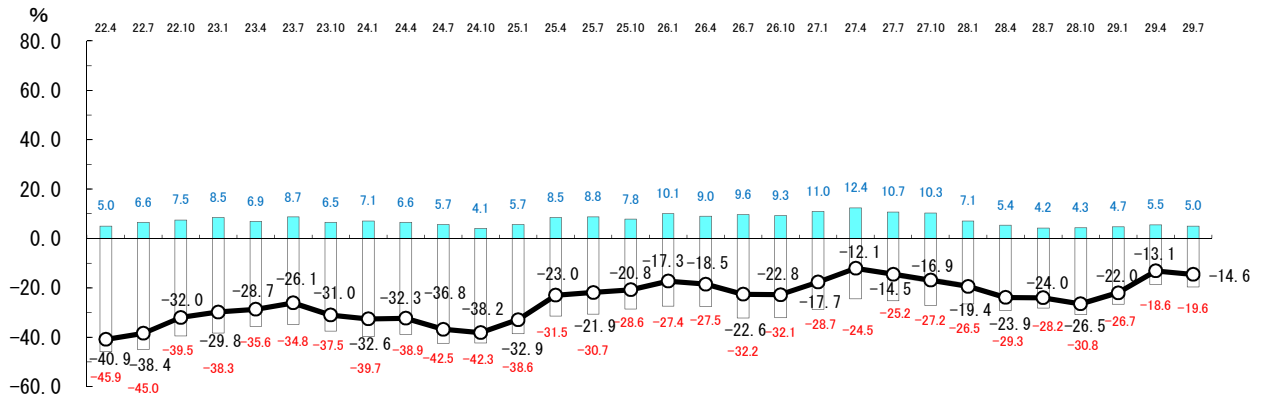
#### 生産量





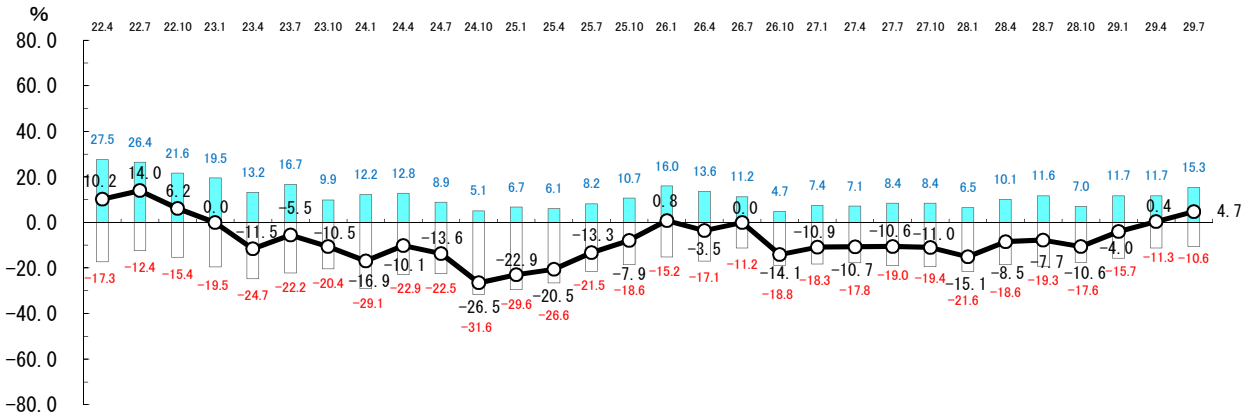
### 製品販売価格

年月



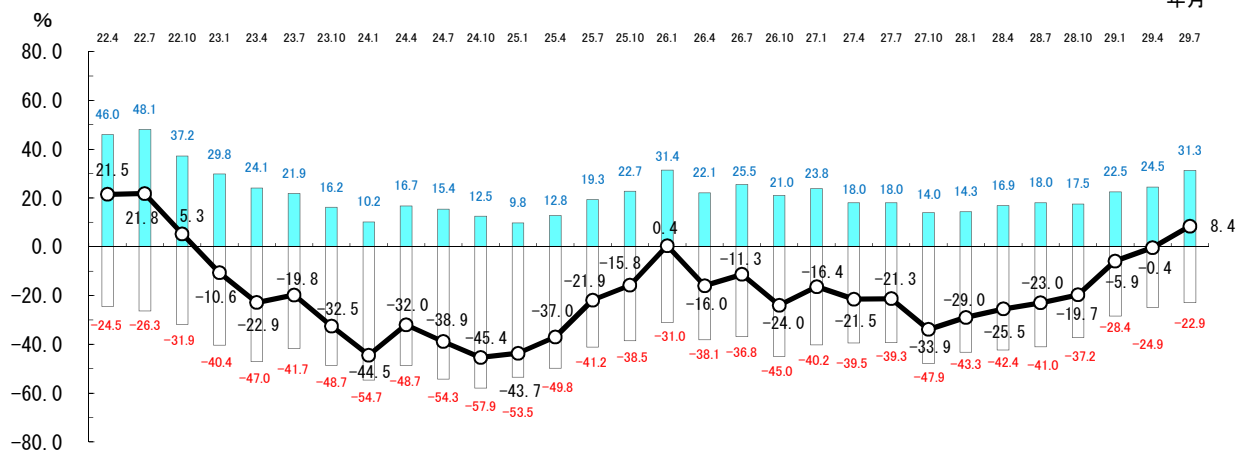
### 資金繰り

年月



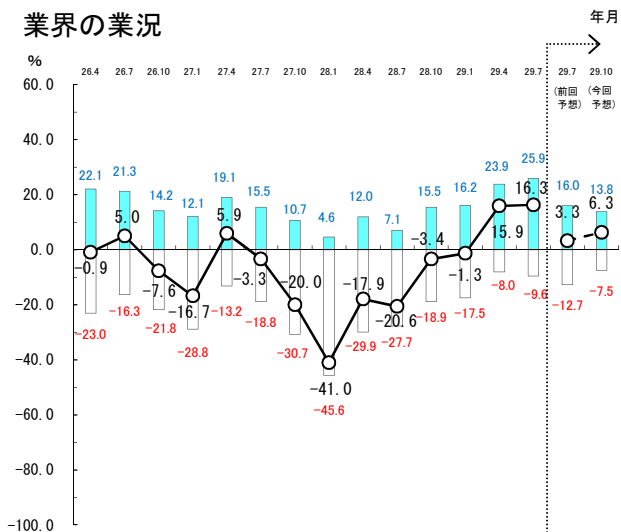
### 収益率

年月

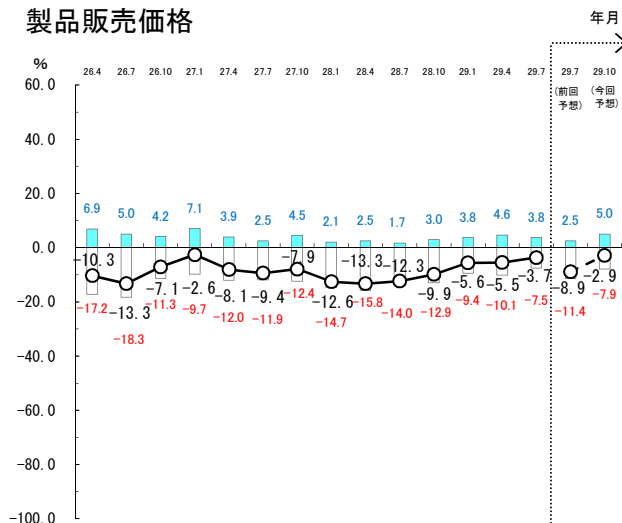


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

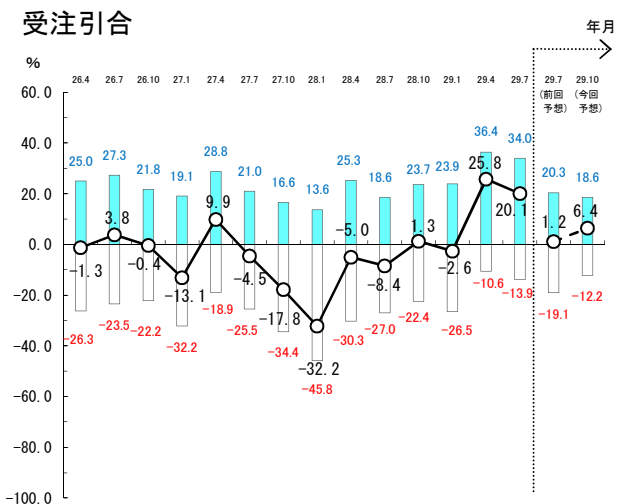
業界の業況



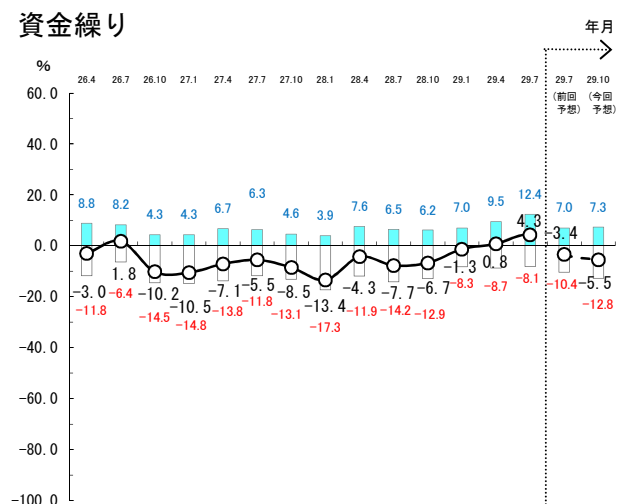
製品販売価格



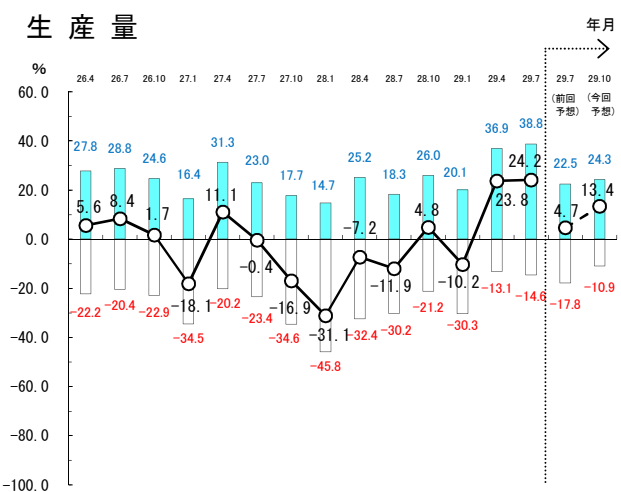
受注引合



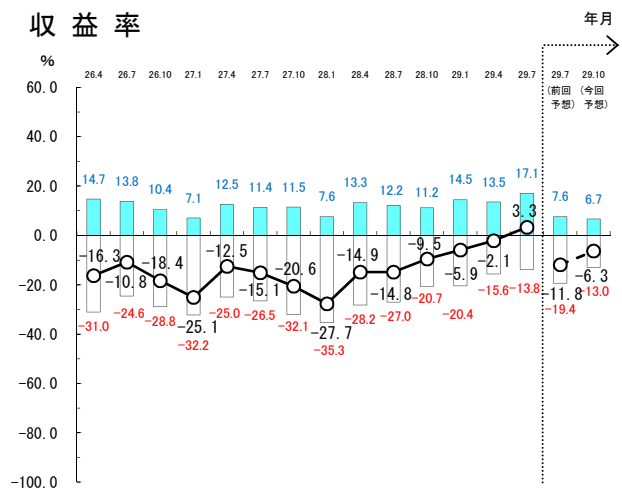
資金繰り



生産量



収益率

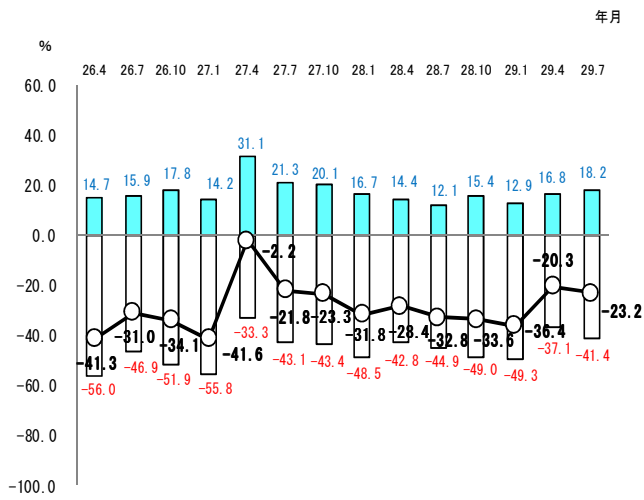


## 2 非製造業

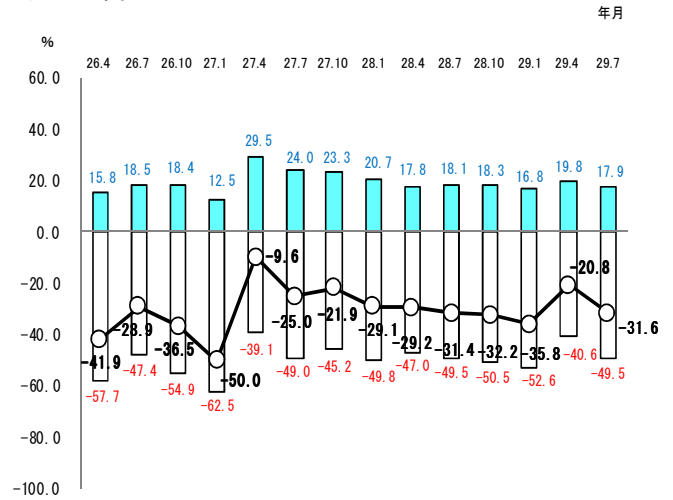
### (1) 前年同期に比べて

#### 非製造業全体

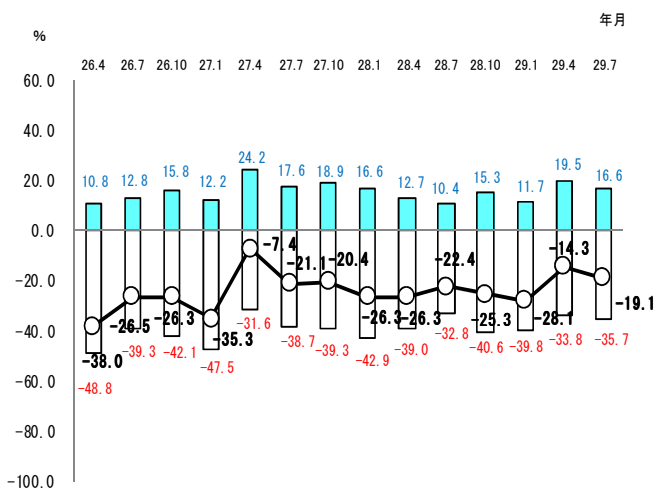
##### 業況



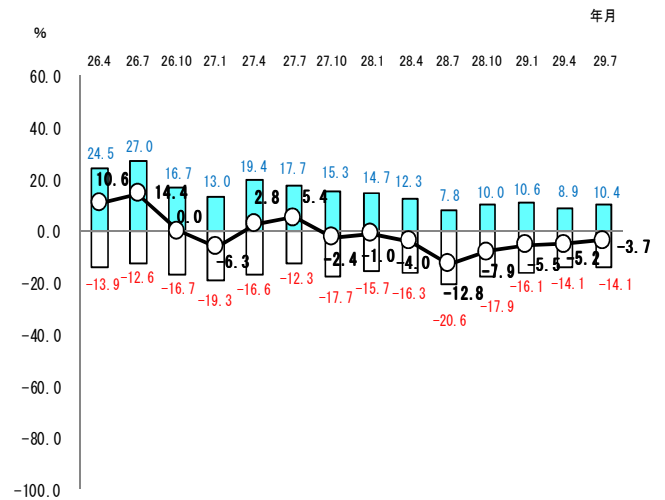
##### 売上高



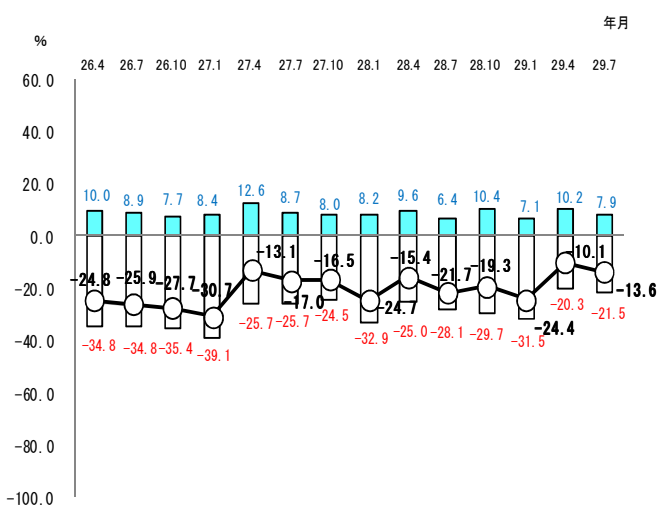
##### 客数 (受案件数)



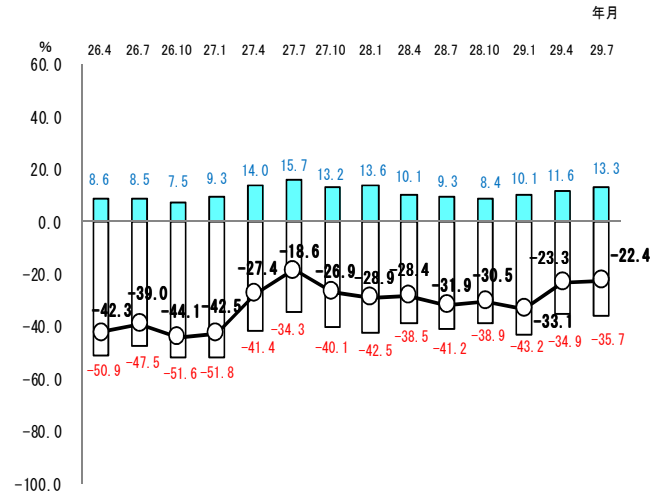
##### 販売価格



##### 資金繰り

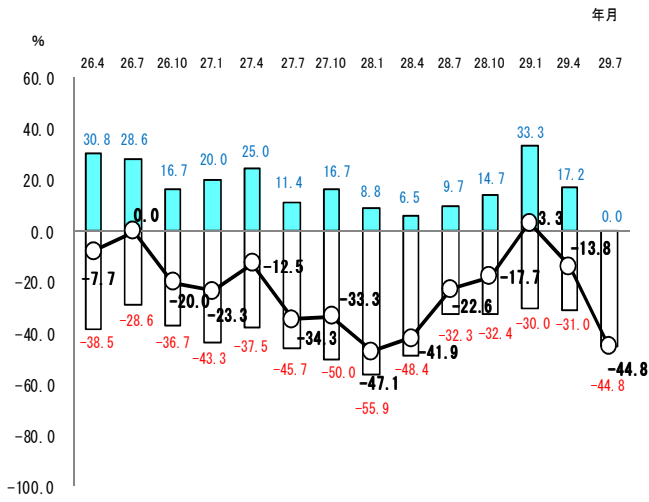


##### 収益率

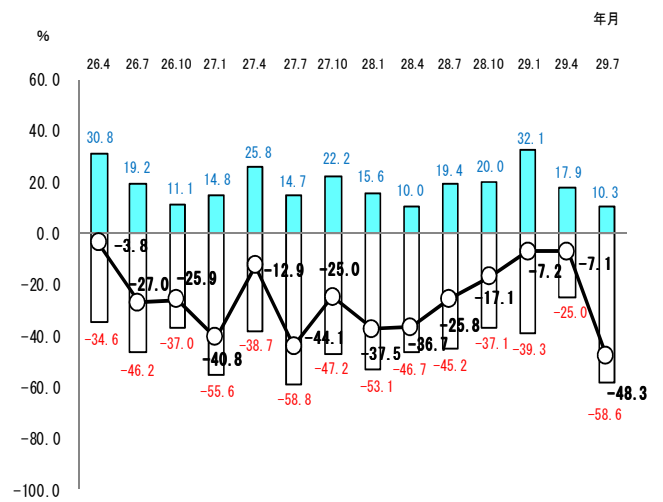


# ア 建設業

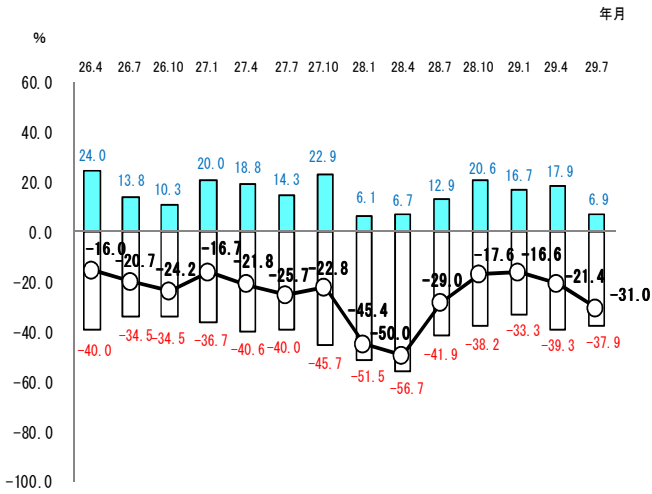
## 業況



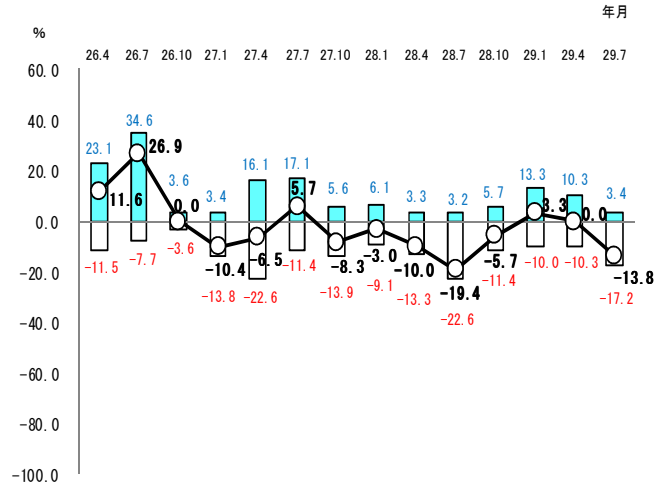
## 売上高



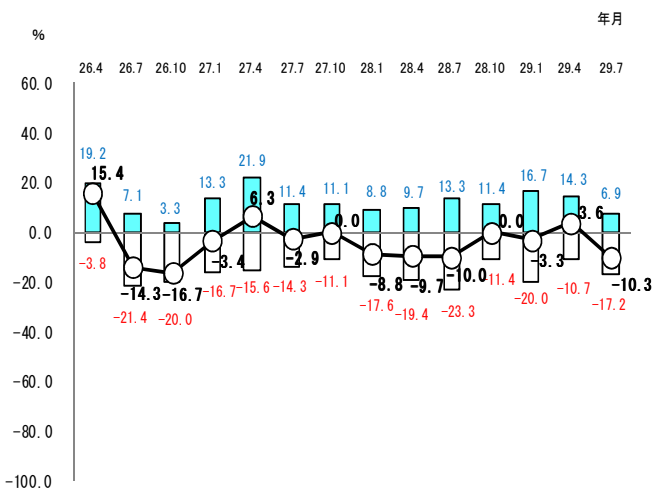
## 客数 (受注件数)



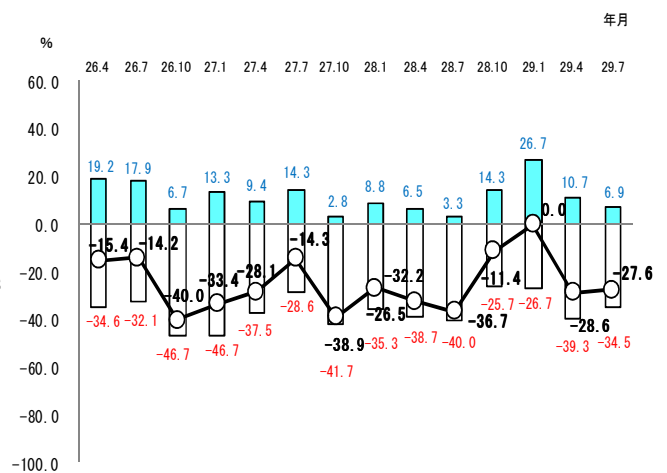
## 販売価格



## 資金繰り

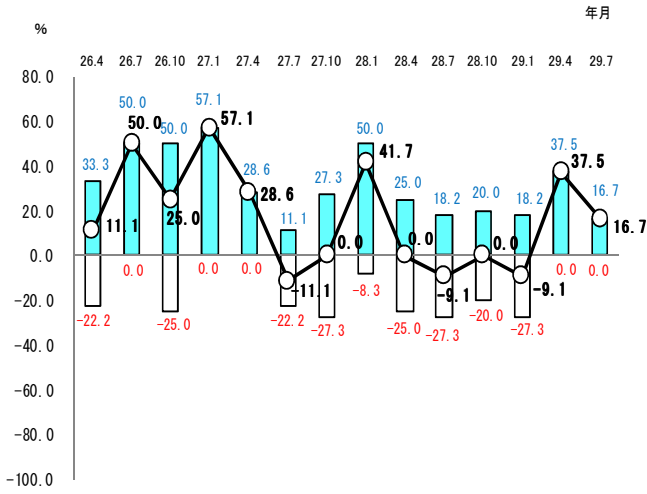


## 収益率

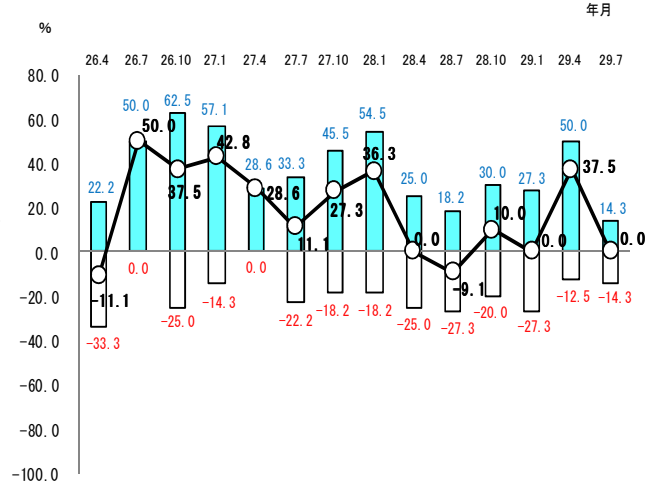


# イ 情報サービス業

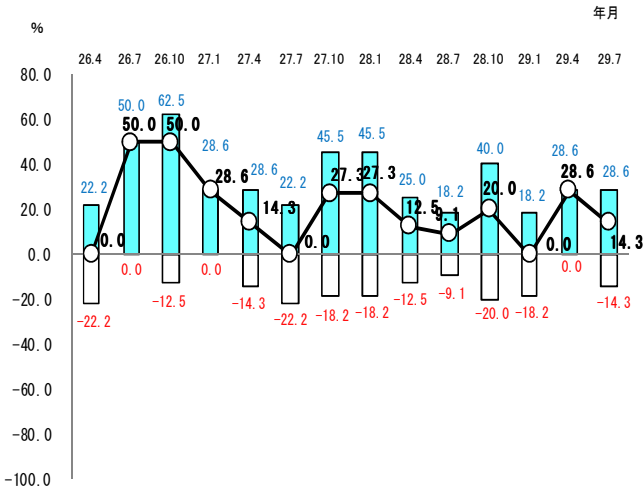
## 業況



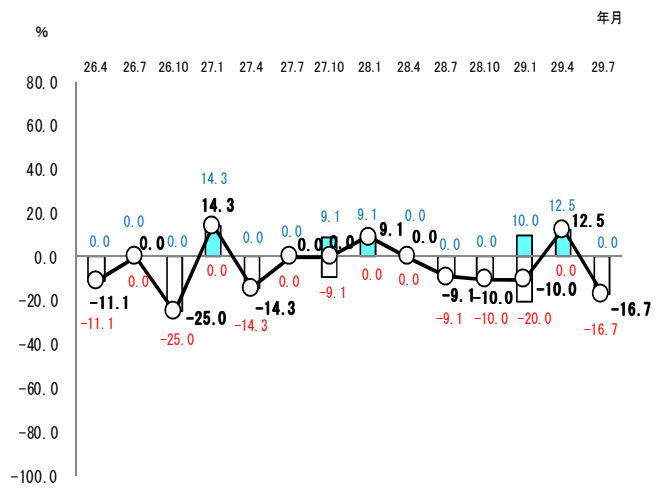
## 売上高



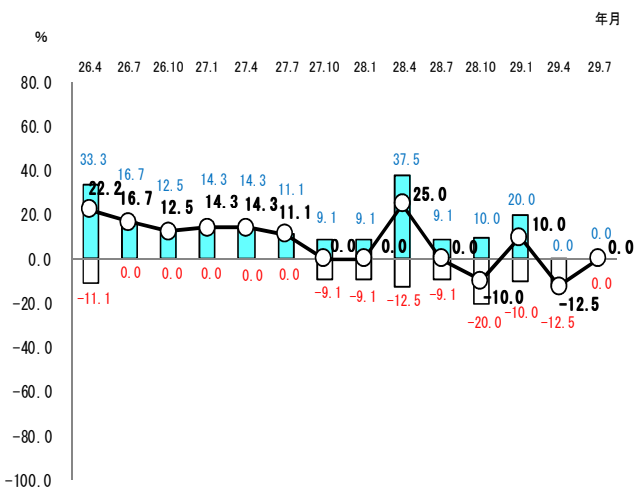
## 客数 (受注件数)



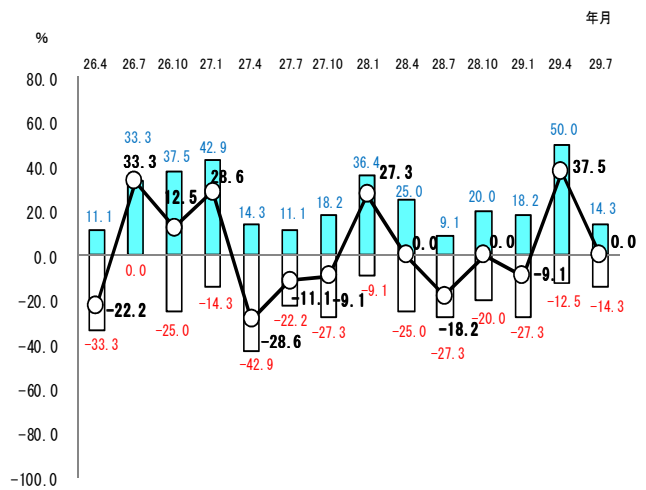
## 販売価格



## 資金繰り

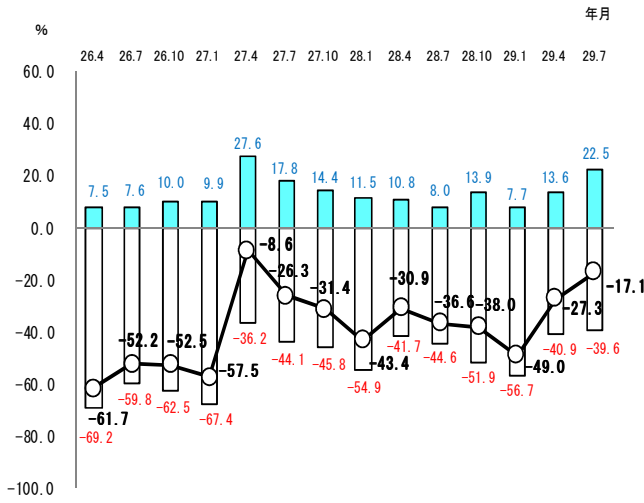


## 収益率

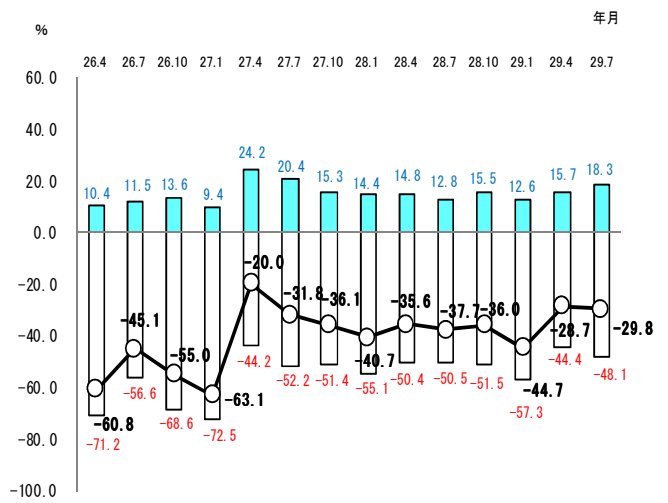


# ウ 小売業

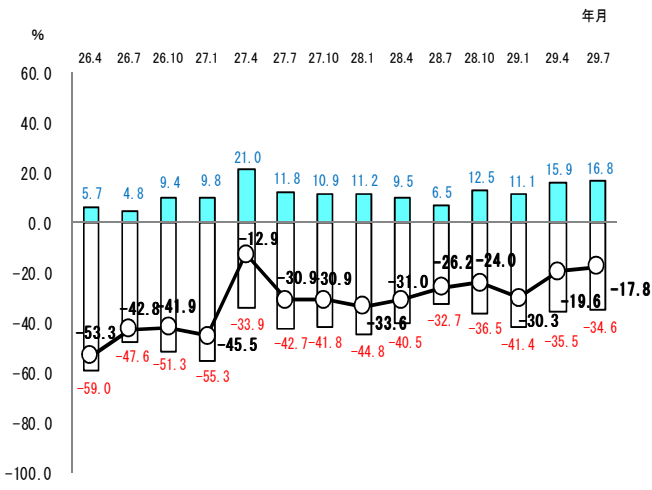
## 業況



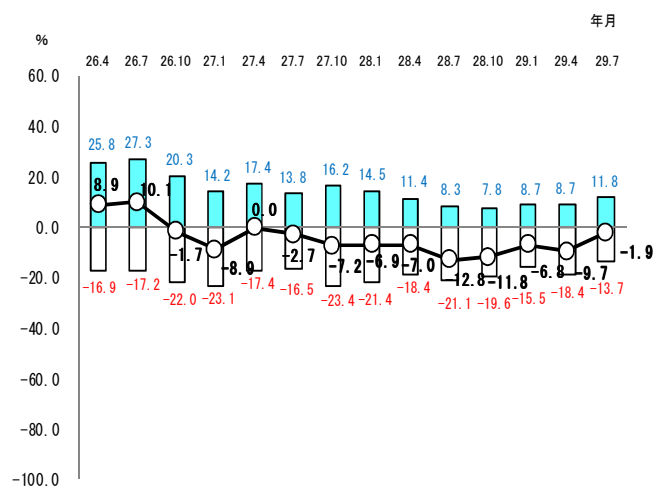
## 売上高



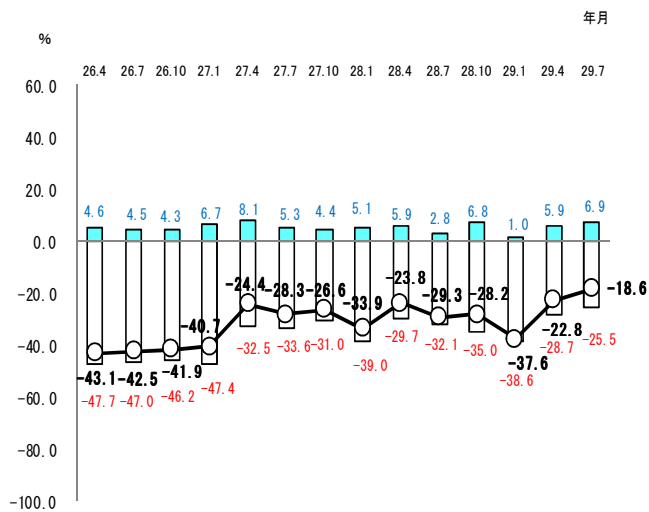
## 客数



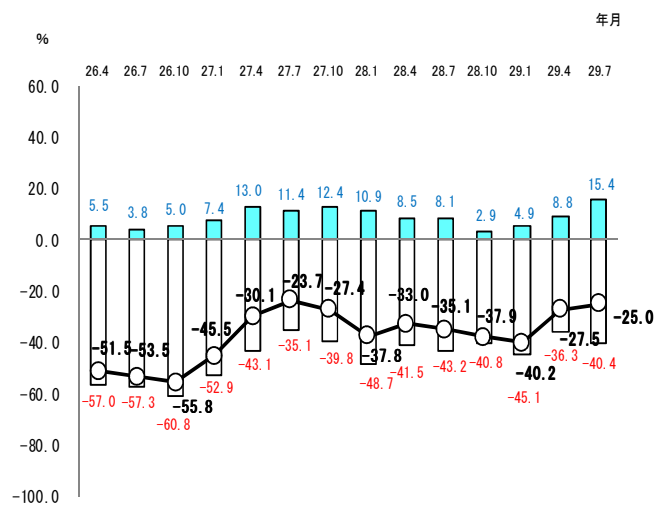
## 販売価格



## 資金繰り

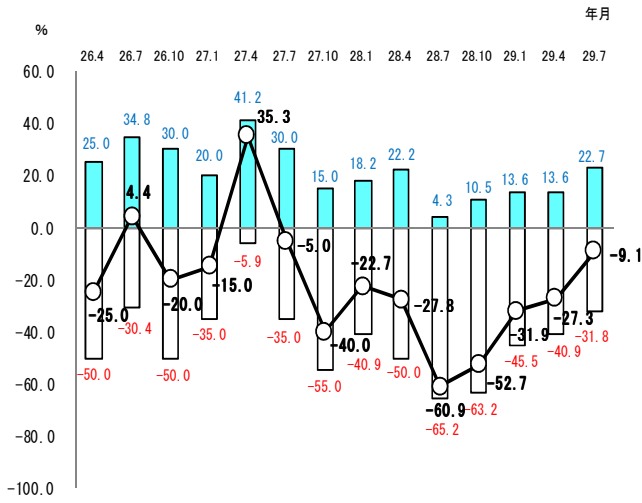


## 収益率

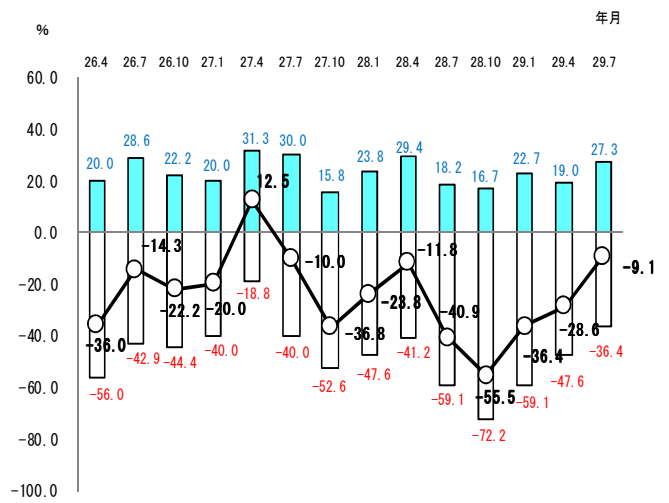


# 工 卸売業

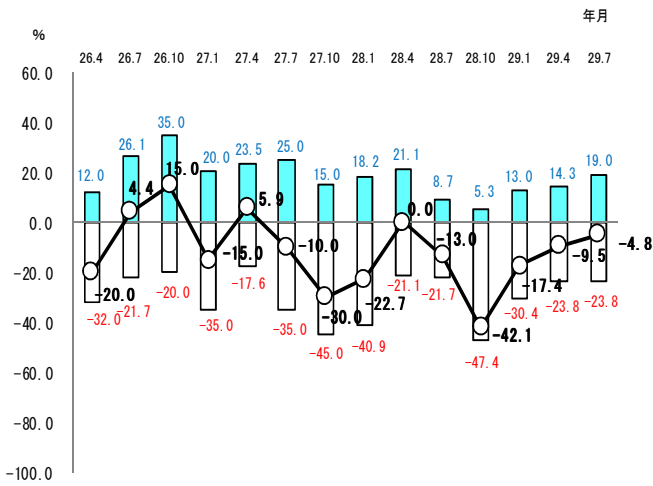
## 業況



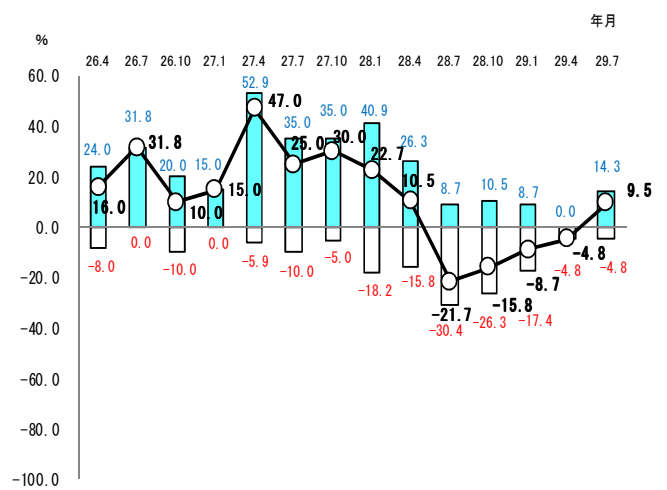
## 売上高



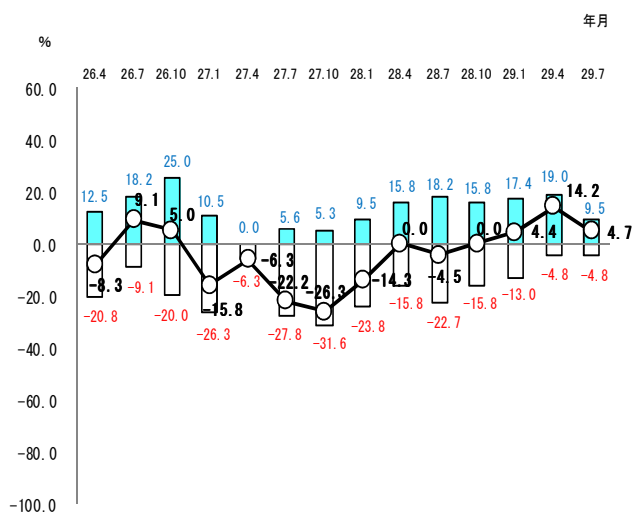
## 客数 (取引先数)



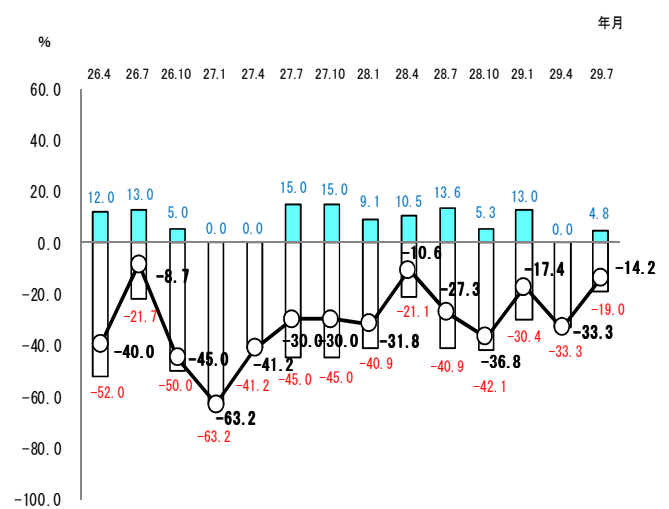
## 販売価格



## 資金繰り

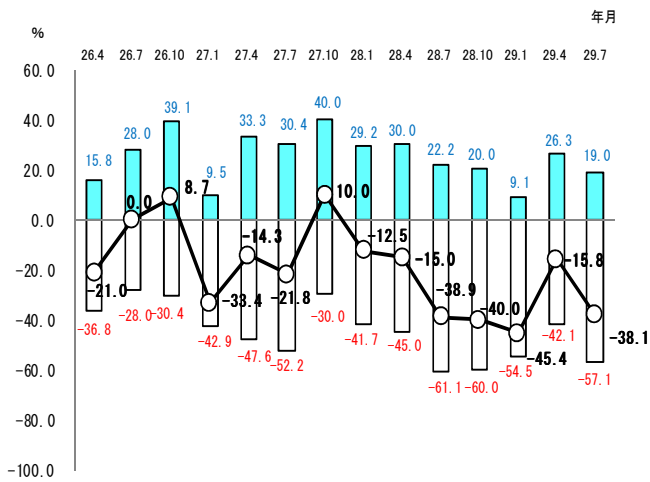


## 収益率

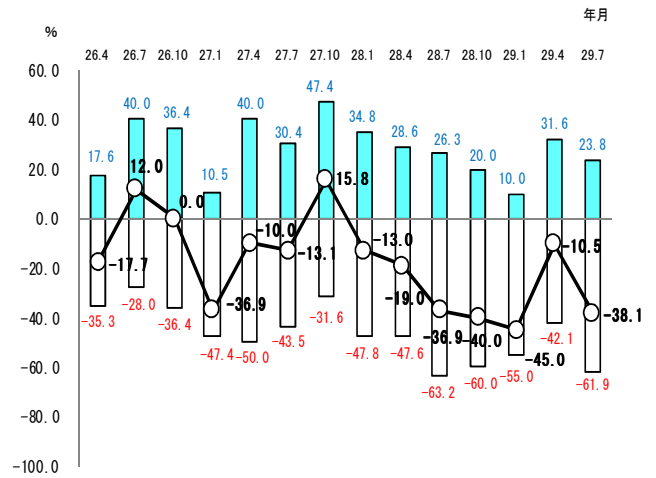


# 才 飲食業

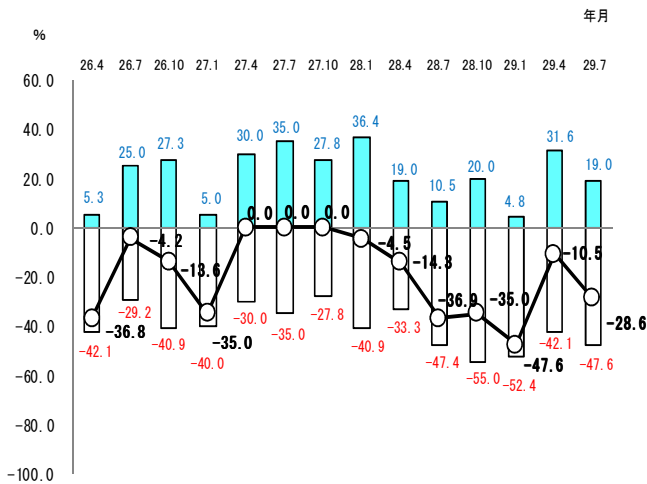
## 業況



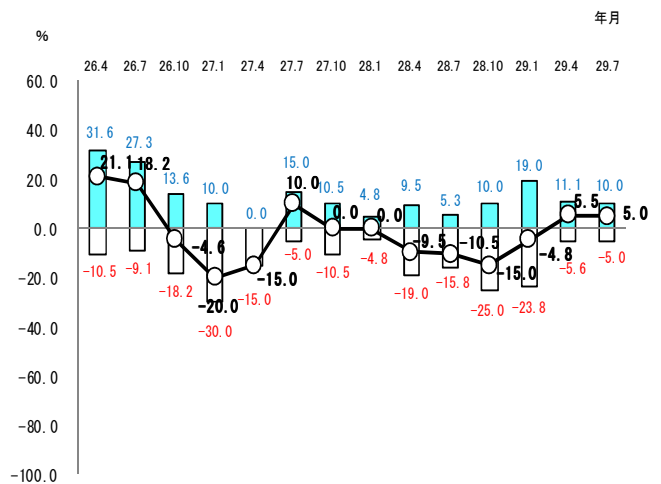
## 売上高



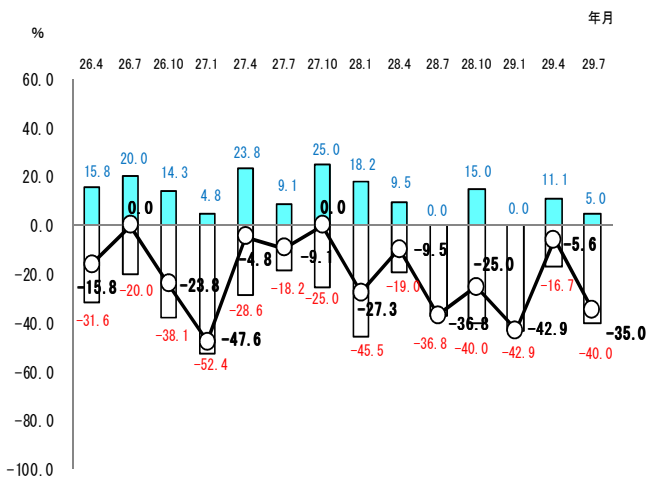
## 客数



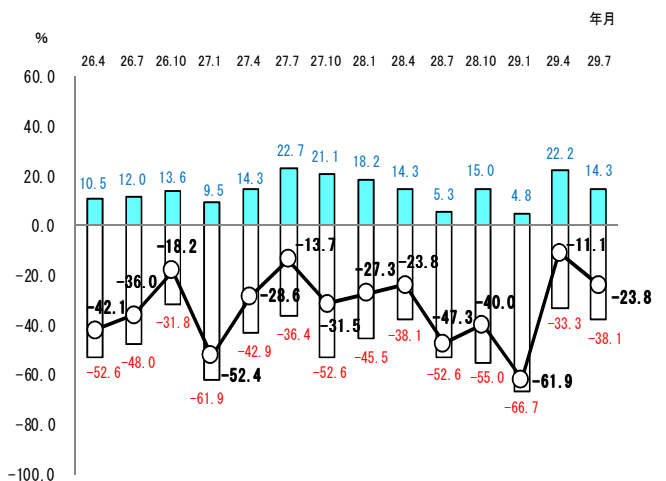
## 販売価格



## 資金繰り



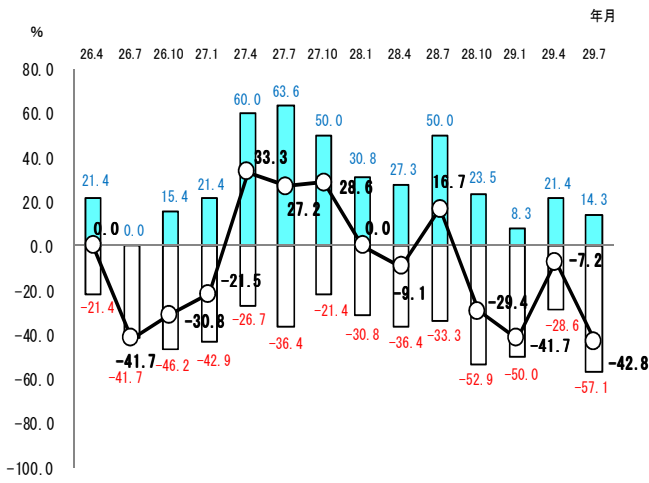
## 収益率



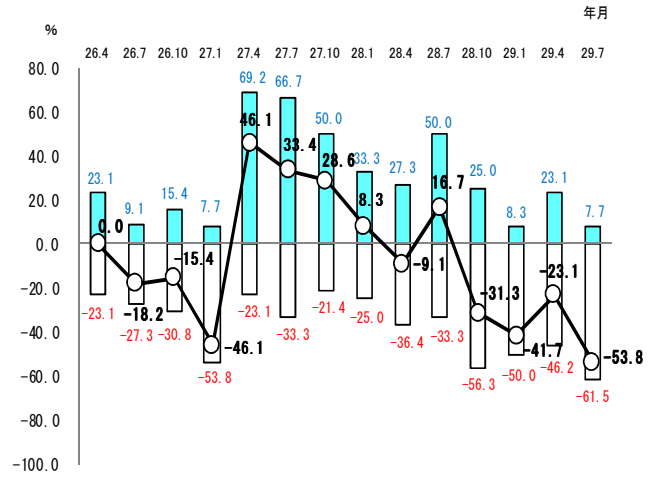


# 力 宿泊業

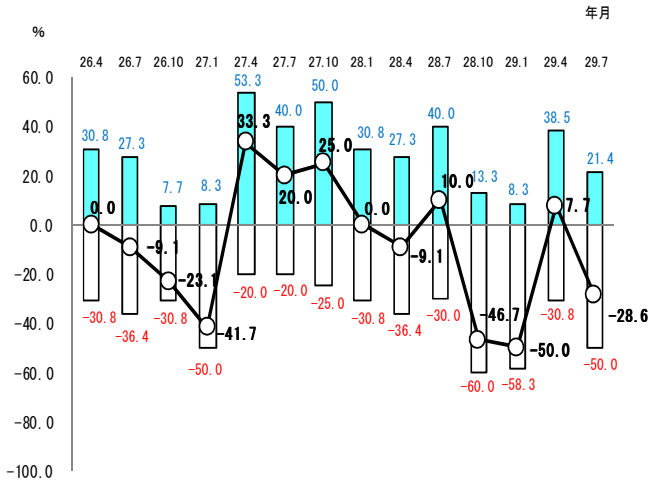
## 業況



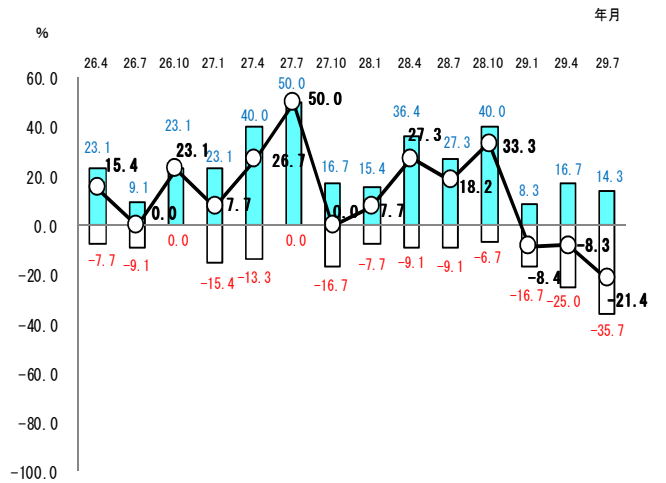
## 売上高



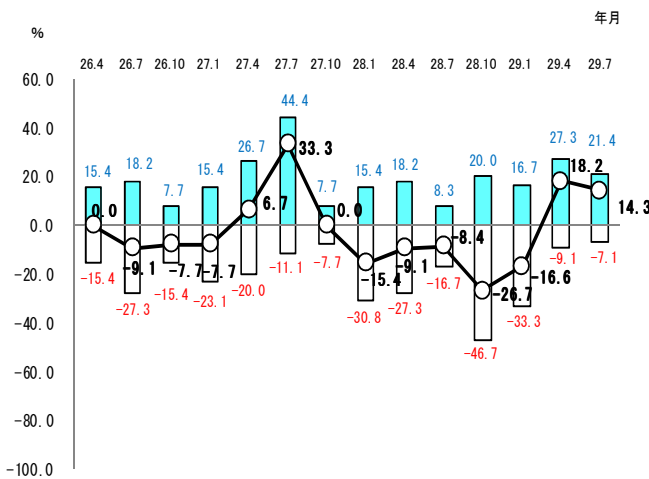
## 客数



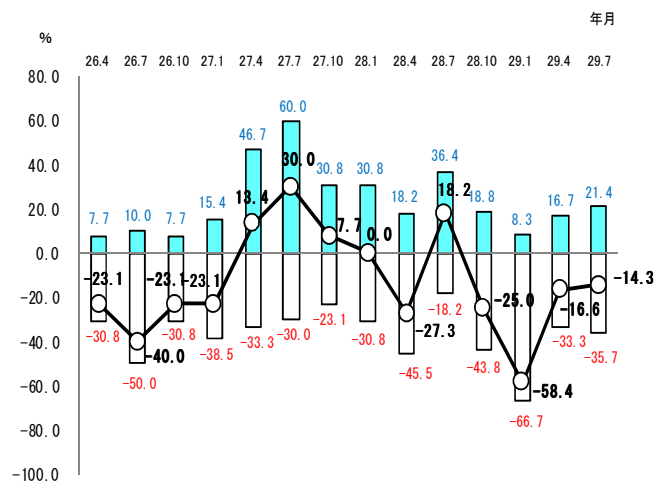
## 販売価格



## 資金繰り

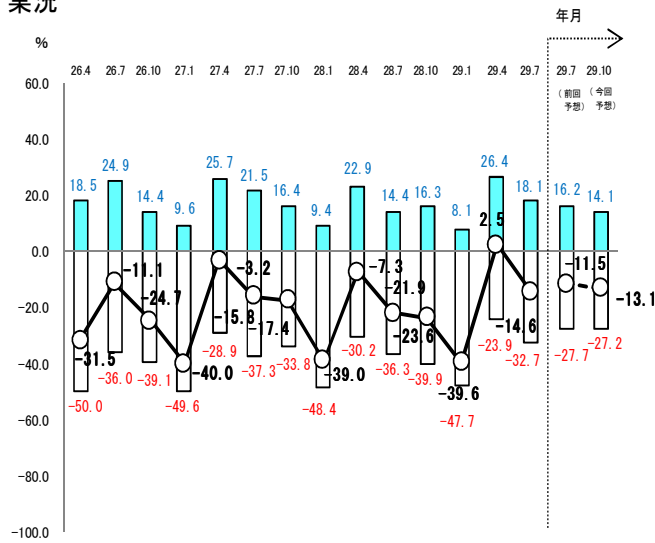


## 収益率

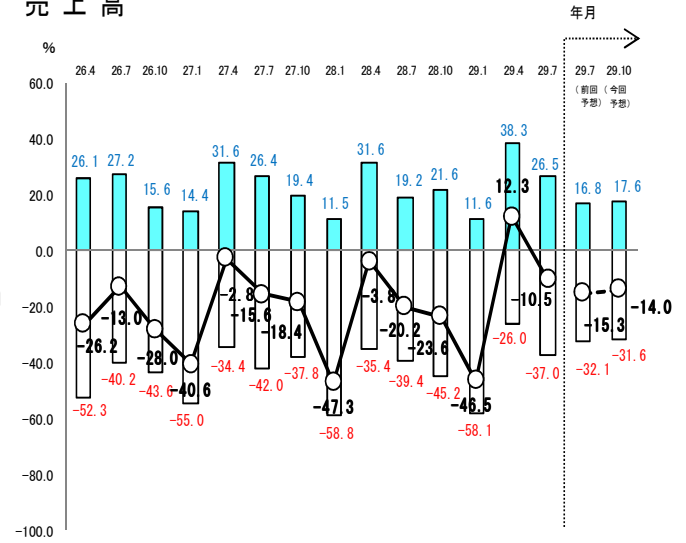


## (2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想 非製造業全体

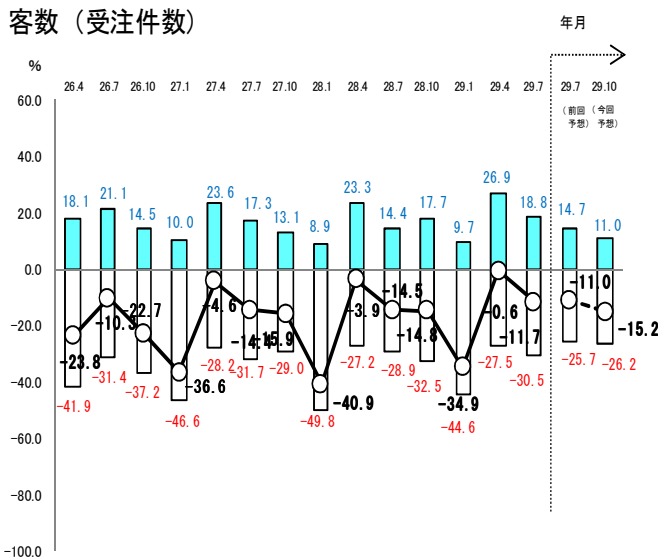
### 業況



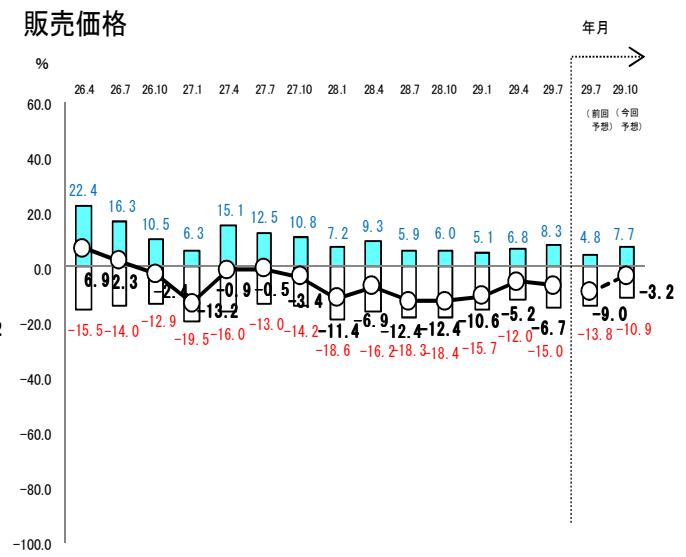
### 売上高



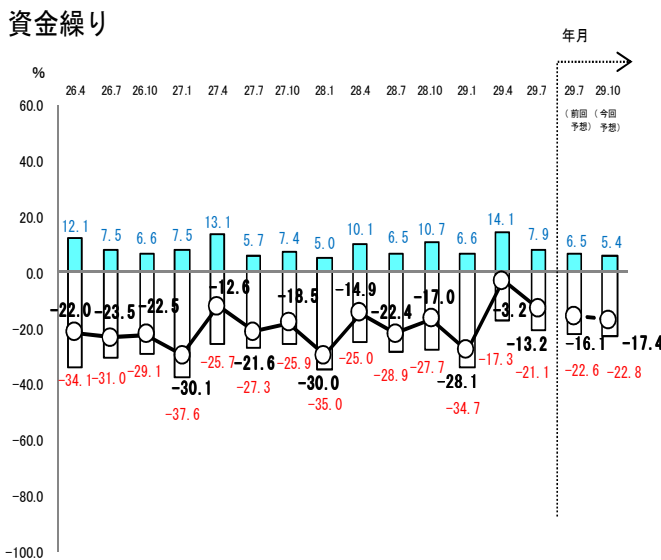
### 客数 (受注件数)



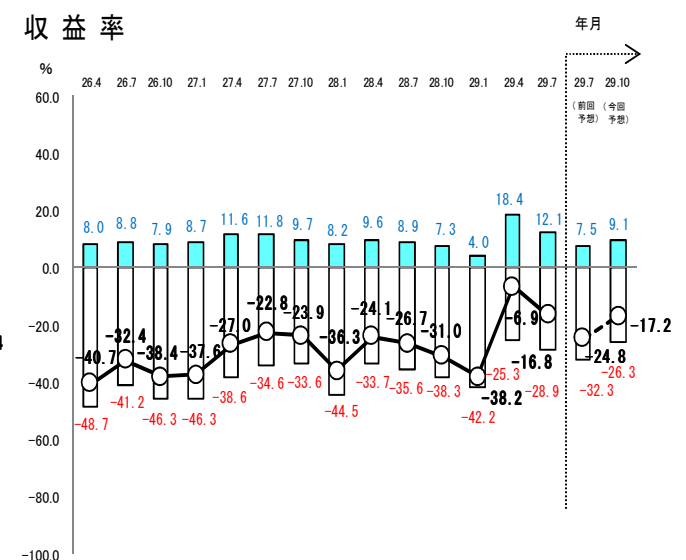
### 販売価格



### 資金繰り

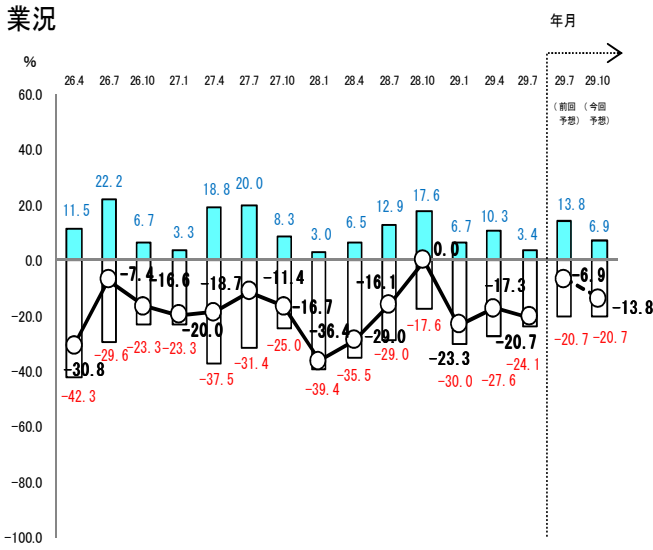


### 収益率

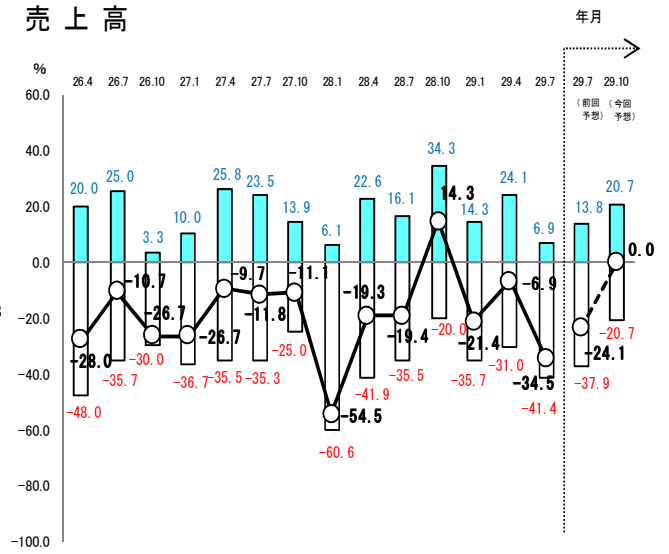


# ア 建設業

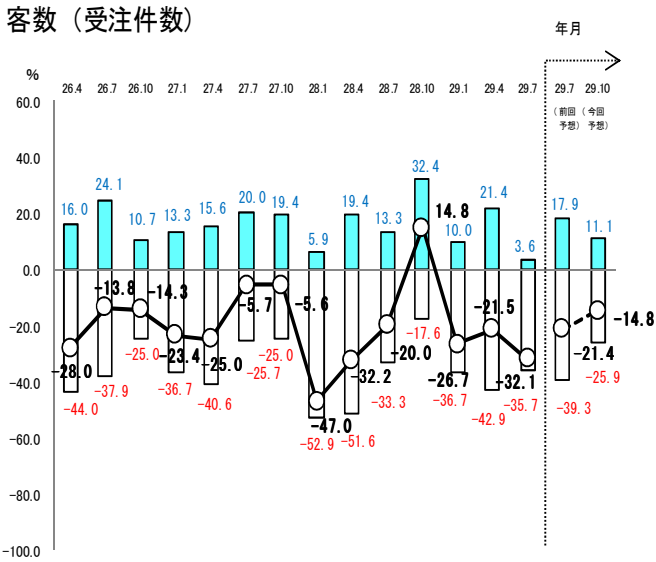
## 業況



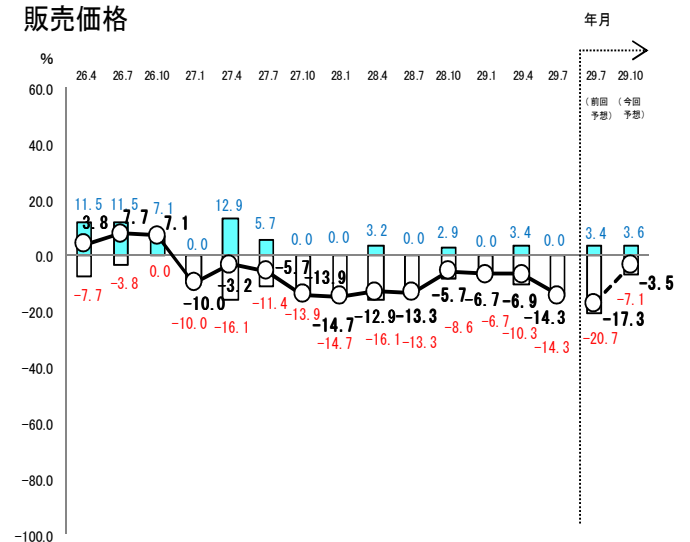
## 売上高



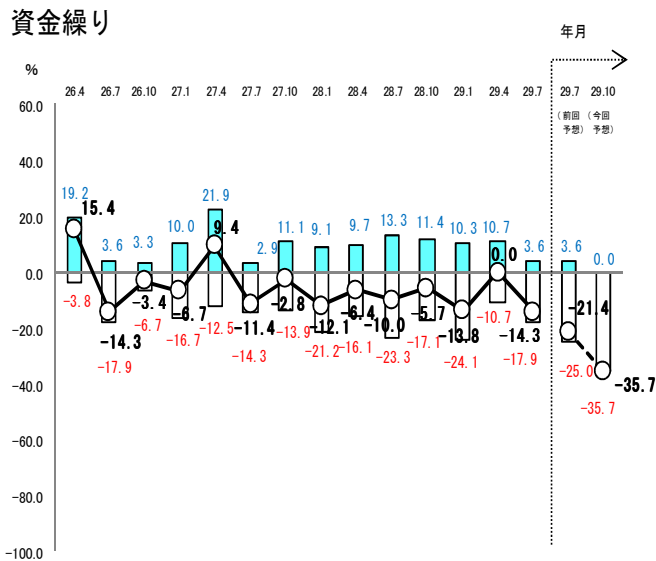
## 客数 (受注件数)



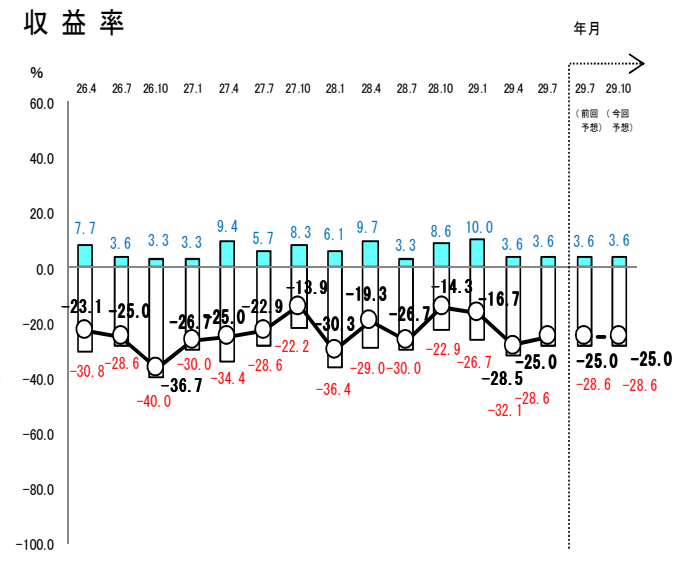
## 販売価格



## 資金繰り

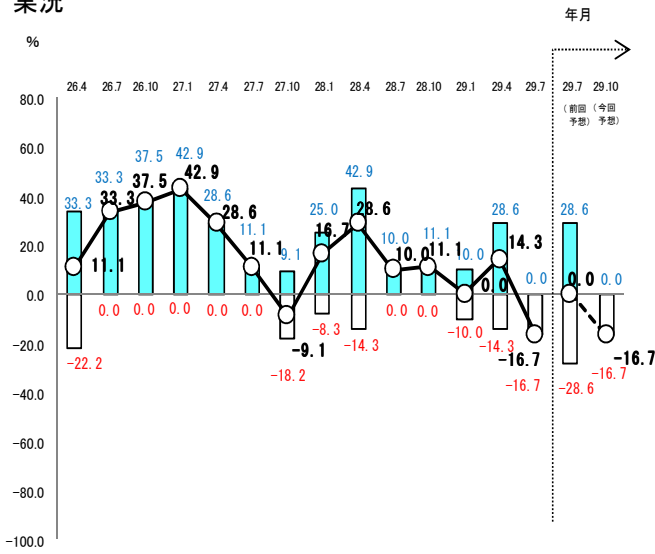


## 収益率

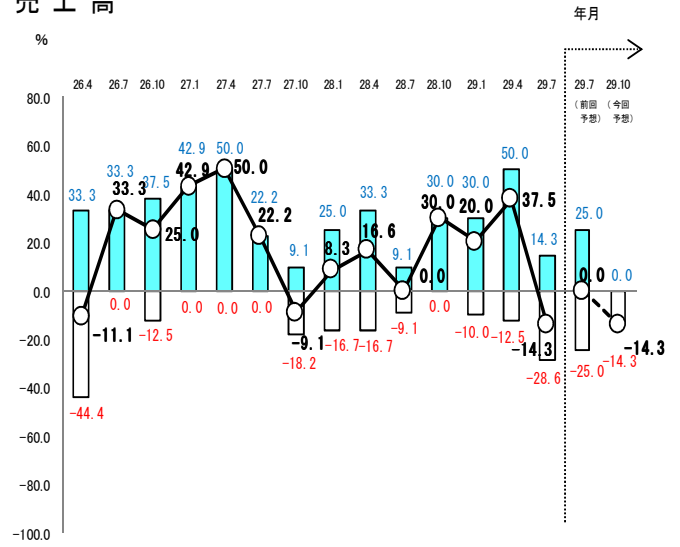


# イ 情報サービス業

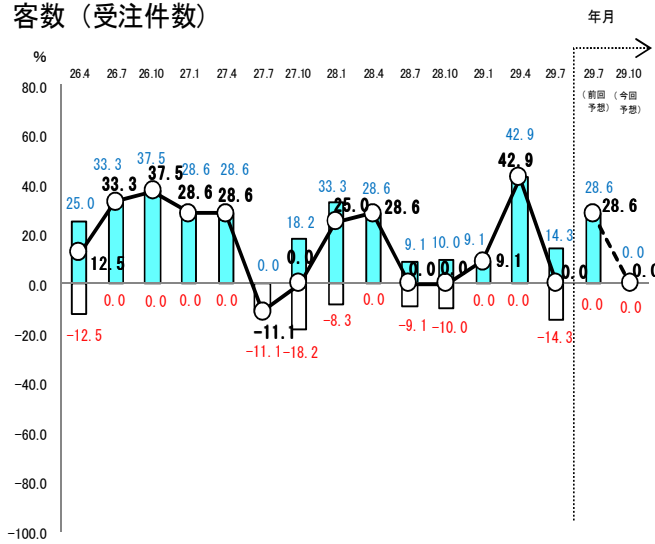
## 業況



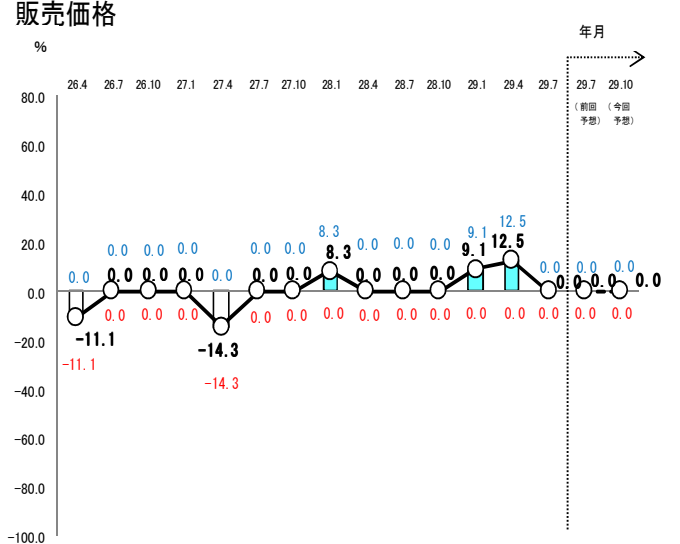
## 売上高



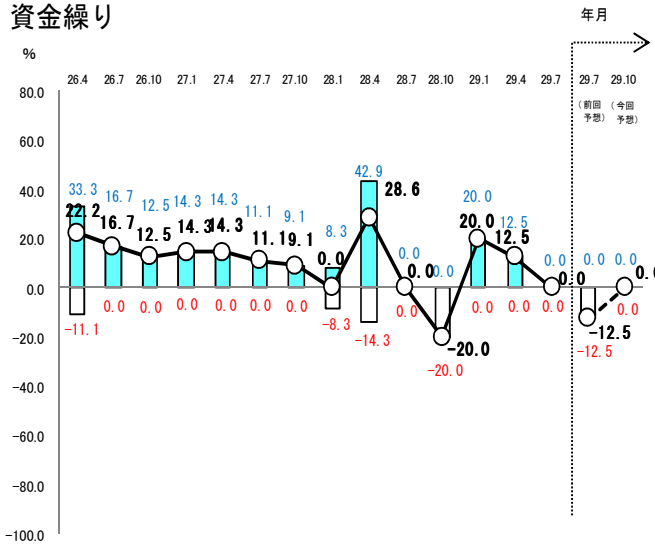
## 客数 (受注件数)



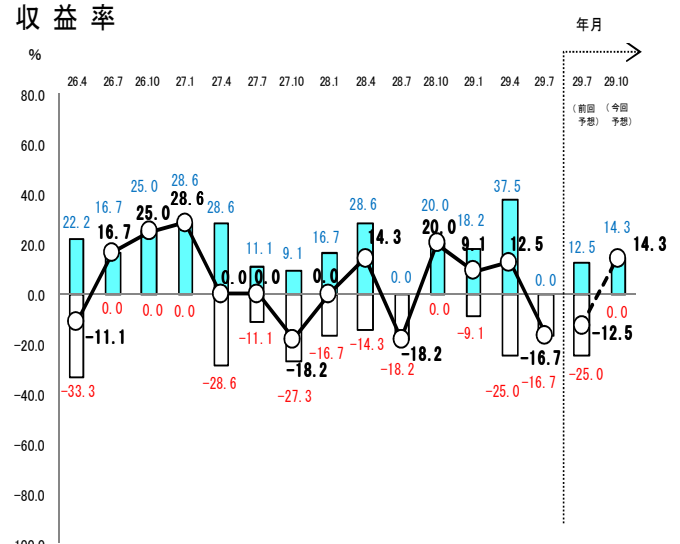
## 販売価格



## 資金繰り

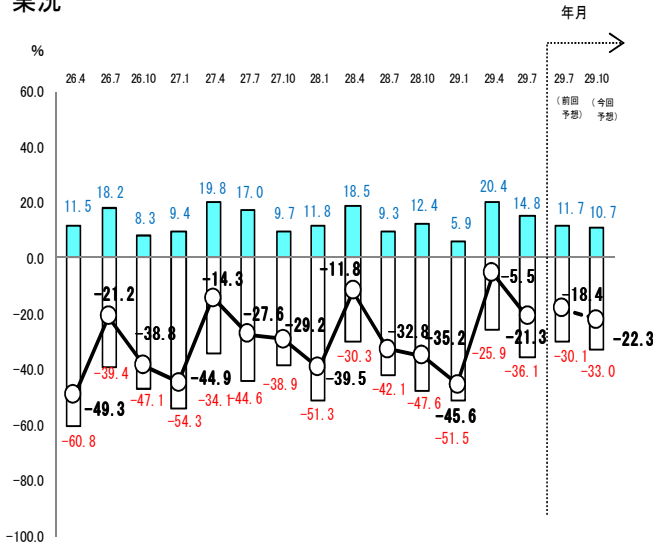


## 収益率

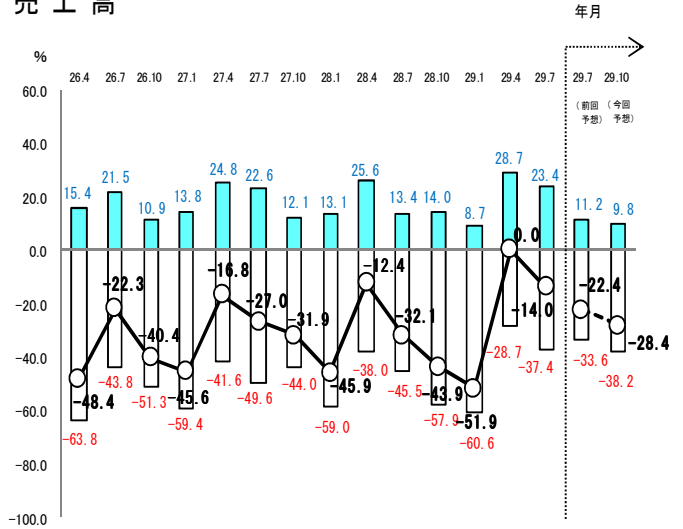


# ウ 小売業

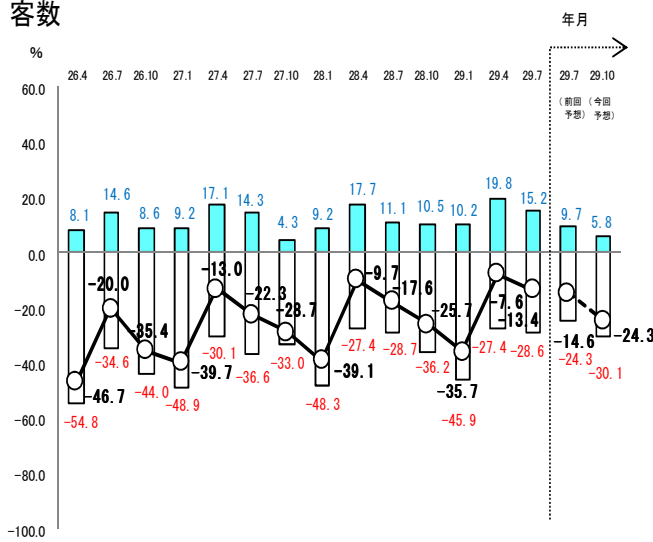
## 業況



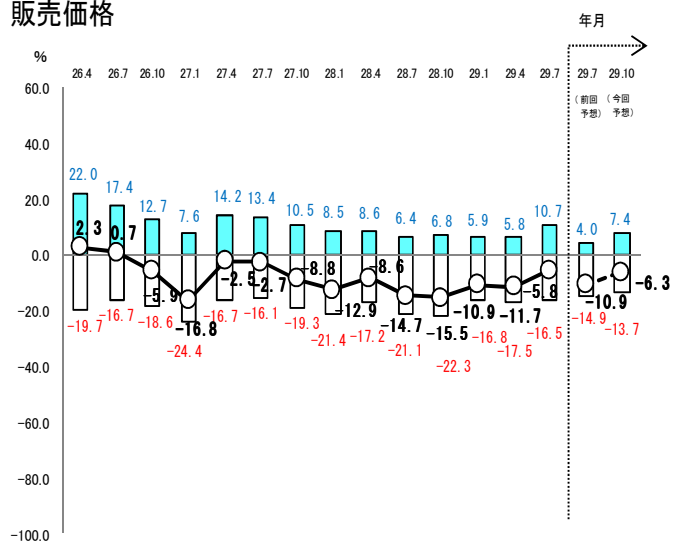
## 売上高



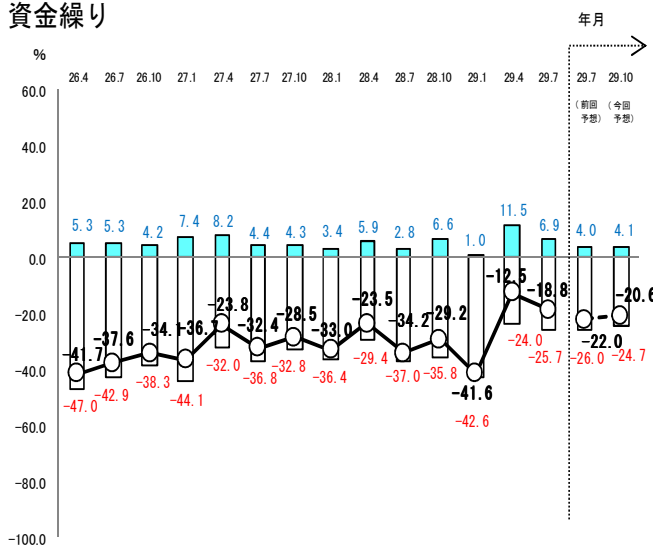
## 客数



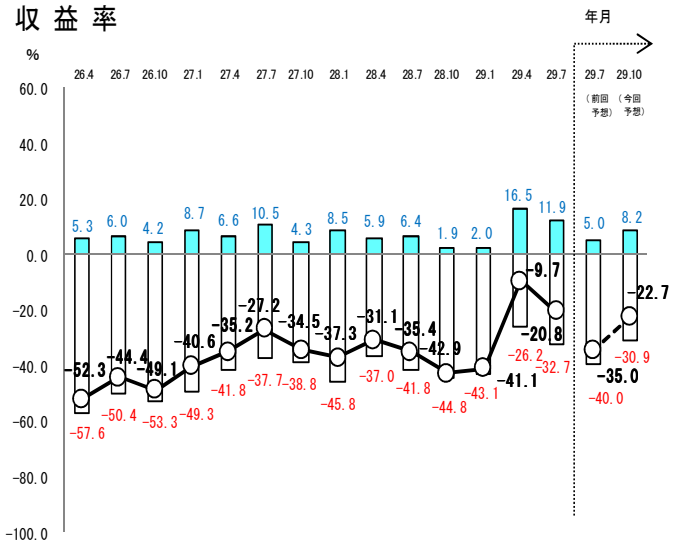
## 販売価格



## 資金繰り

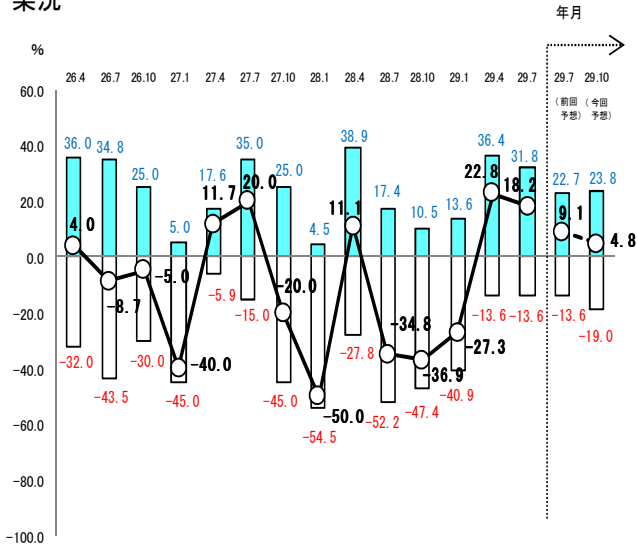


## 収益率

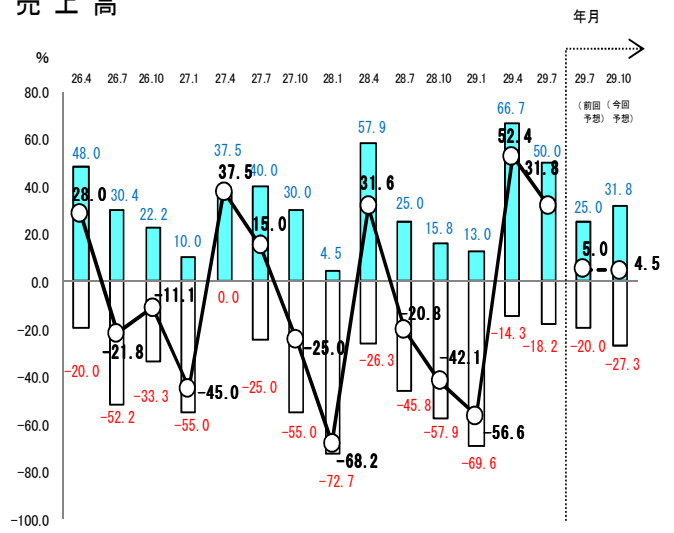


# 工 卸売業

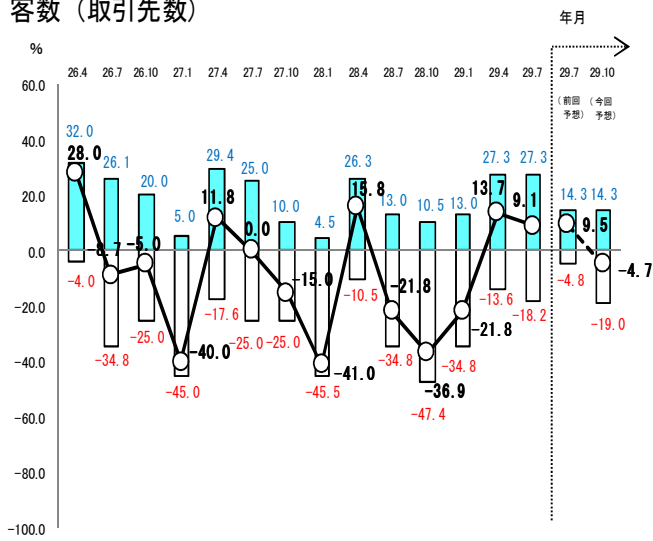
## 業況



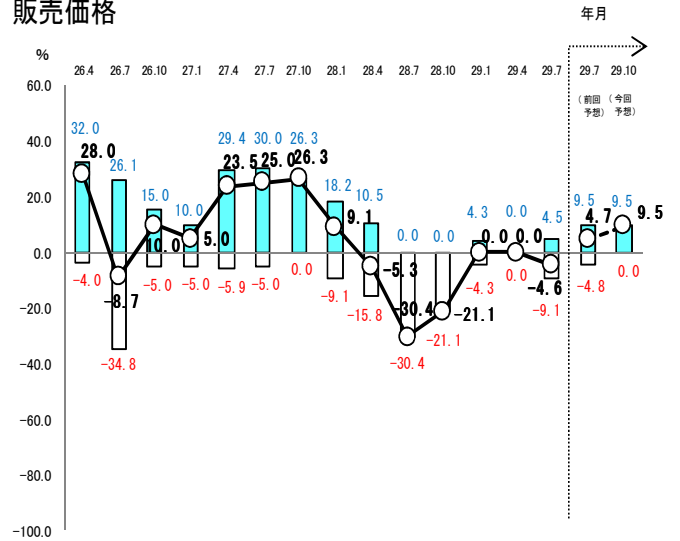
## 売上高



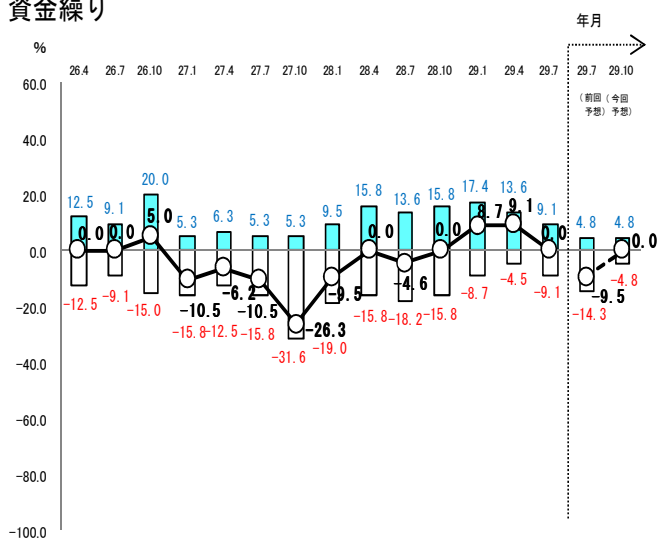
## 客数 (取引先数)



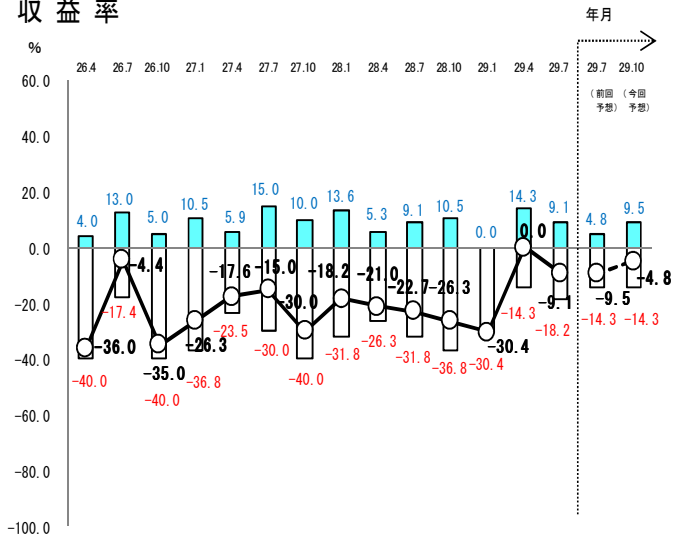
## 販売価格



## 資金繰り

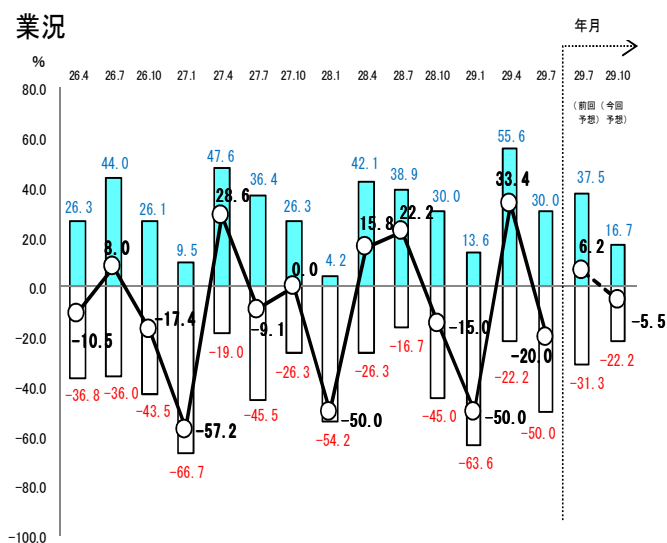


## 収益率

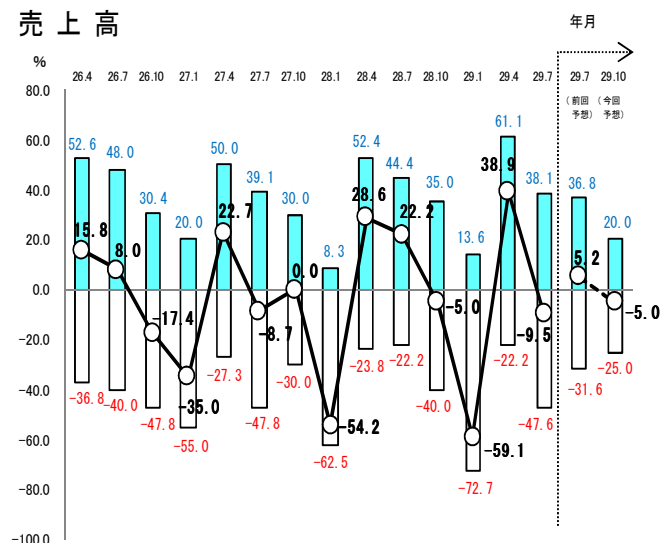


# 才 飲食業

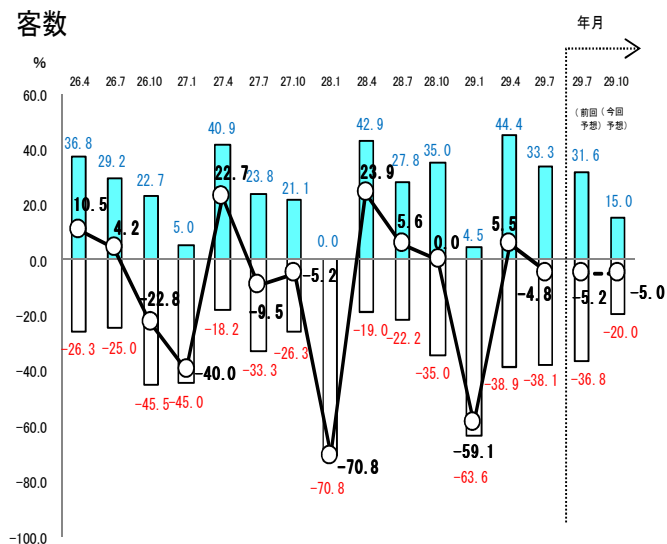
## 業況



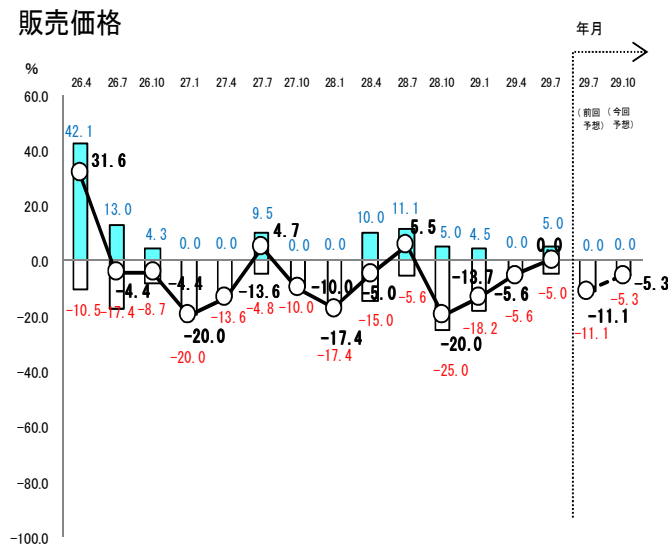
## 売上高



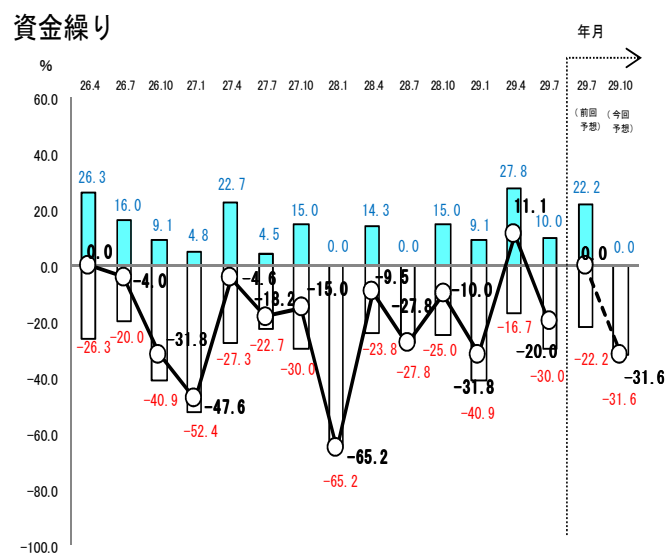
## 客数



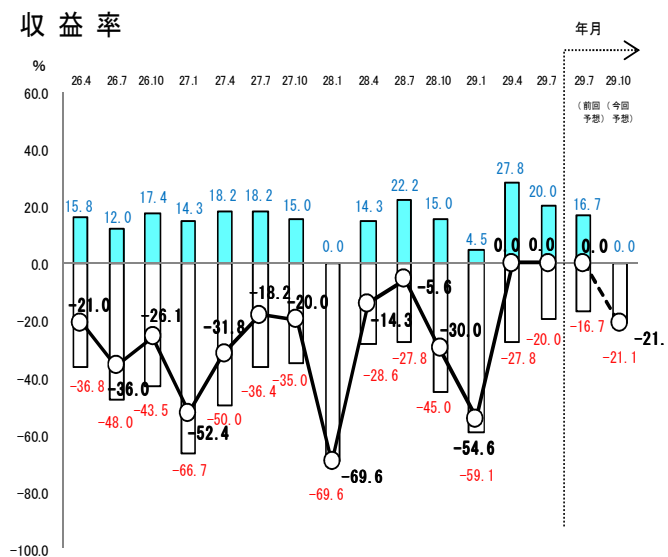
## 販売価格



## 資金繰り

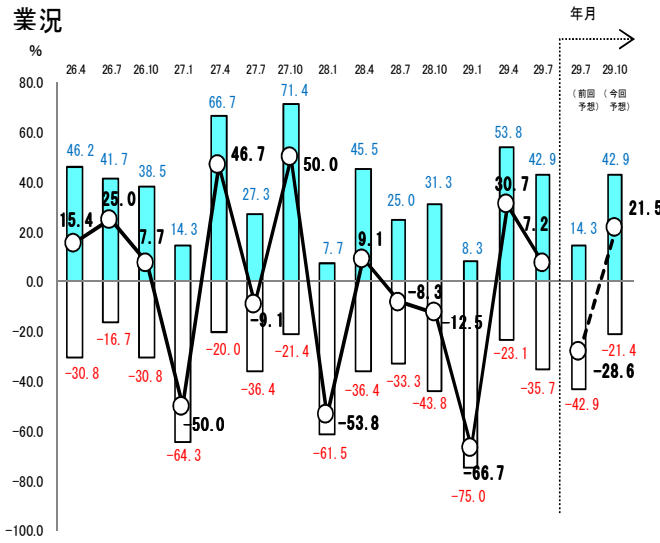


## 収益率

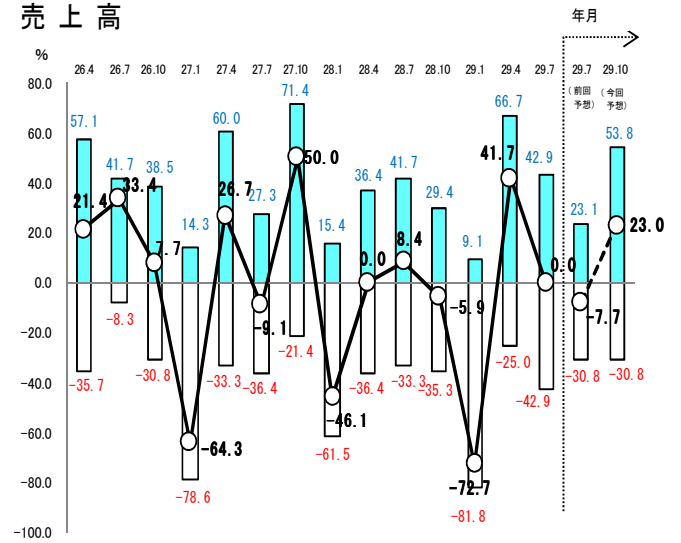


# 力 宿泊業

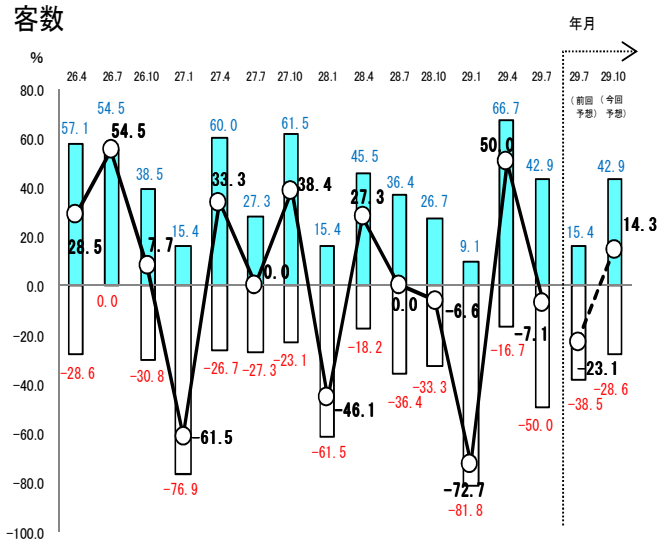
## 業況



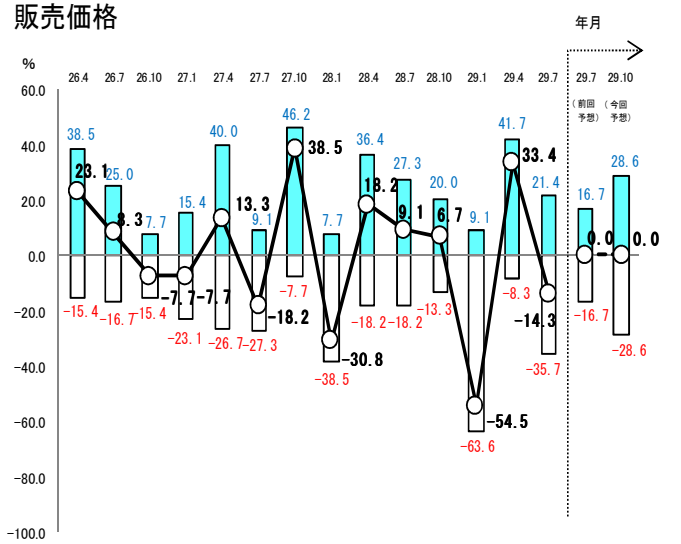
## 売上高



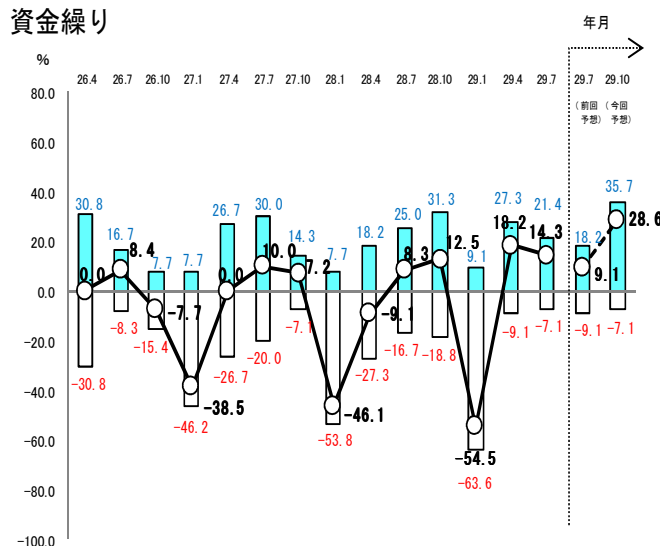
## 客数



## 販売価格



## 資金繰り



## 収益率

